

令和元年度第2回第18採択地区教科用図書採択地区協議会会議録

【日時】令和元年8月1日（木）

【場所】深谷市立教育研究所 大会議室

【出席者】委員 小柳光春、轟 和男、吉井恵美子、鶴養美季、清水幸三郎、吉田明美

事務局 吉田 勇、関根正雄、野口泰明、雨宮大地、飯塚健太、新井知章、栗原秀人、

小林 亘、山下雅之、飯野ゆかり、山田英加

司 会 雨宮大地

1 開会のことば

2 会長あいさつ

議 長	それでは、これから採択協議を始めます。事務局から本日の会議の進め方について、説明させていただきますので確認をお願いいたします。
事務局	協議会の進め方について説明いたします。目録の順番に従い、国語から、各教科の調査員長に調査研究の内容の報告をしていただきます。その後、質疑応答を行います。各教科の報告は15分、質疑応答は5分、合計20分で行います。社会については、地図を含み30分程度とします。選定は、3つの教科の協議終了ごとに投票で行います。なお、要項では、本協議会は公開となっておりますが、傍聴に際しましては、録音、撮影等のご遠慮ください。また、要望書が届いておりますが、要望書の内容につきましては、先日、委員の皆様にお配りした通りとなっております。 小学校用教科用図書の選定後、中学校用教科用図書の選定を行います。中学校の教科書につきましては、第18採択地区教科用図書採択地区協議会規約第11条第1項及び第13条第4項によりまして、事務局から前回の調査資料の報告、その後、選定を行います。選定につきましては、挙手で行います。 以上で説明を終わります。
議 長	ご質問、ご意見はありますか。
議 長	それでは、各教科書の協議に入ります。進行にご協力お願いします。 なお、投票により選定を行いますが、その際、お配りのメモ用紙をご活用ください。国語の調査員長にお声かけください。
議 長	御多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。
調査員長	これから、国語の調査結果を報告いたします。よろしくお願いいたします。 国語では、「東京書籍」「学校図書」「教育出版」「光村図書」四つの発行者の教科書があります。まず、それぞれの教科書についてご報告する前に、全ての教科書について共通して言えることをお伝えします。 どの教科書につきましても、学習指導要領の教科の目標に準拠し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業を行うために適した教科書でありました。 また、ユニバーサルデザイン、特別支援教育への配慮、造本上の工夫等、どの教科書も細か

な点に配慮され使いやすい教科書であったことを、まずご報告させていただきます。

それでは、これから各発行者の教科書について作成いたしました「国語科調査資料」の総括に書かれています内容を中心に特徴的な部分を説明させていただきます。

なお、説明する順番は、「発行者番号」順といたします。

また、具体的な部分をお示しする際に教科書を使用したいと思っておりますので、各発行者4年生下巻の教科書をお手元にご用意いただければ幸いです。ご準備よろしく願いいたします。

○初めに「東京書籍」です。教科書4年・下巻24ページをお開きください。各単元を「つかむ」「取り組む」「振り返る」という構成にすることで、学習過程を明示し、見通しをもって学習できるようになっています。24ページが「つかむ」ページになっています。「つかむ」には次のように書かれています。「身の回りの出来事で、心に残っていることをみんなに聞いてもらいましょう。出来事の様子や、そのときの自分の気持ちがみんなにうまく伝わるようにするには、どのように話すか、どのように話をとよんでしょうか。」ここで、この単元が「話すこと・聞くこと」の単元であり、自分の気持ちをうまく伝わるようにするには、どのように話すか、どのように話をとよむかを学ぶ学習であることを知ることができます。25・26ページが「取り組む」ページです。実際に授業で行う学習活動が示されています。26ページには「山下さんの練習原こう」がありますが、スピーチする際に気を付ける点について赤字で示されています。27ページが「振り返る」ページとなっています。気持ちが聞き手に伝わるようにするために、どのように話し方を工夫したか、という振り返りの観点を示しています。また、考えを形成する手立てとしてノートやメモ、カード、図表、対話等の例を取り入れ、思考を言語化し、整理したり、深めたりできるようになっています。26ページの下にあります挿絵の吹き出しの会話は、思考を言語化している場面です。

○次に、「学校図書」です。教科書4年・下巻28ページをお開きください。活動の概要を単元冒頭に提示したり、学習活動の流れを「学習のてびき」として見開きで示したりして見通しをもって学習できるようになっています。28ページの下にありますように単元の冒頭で活動の概要を示し、学習の見通しがもてるようになっています。①から⑤の学習活動が示されていますが、②③に薄いピンク色を付けることで、書く活動が中心となる単元であることを示しています。60ページをお開きください。このページは「ごんぎつね」の「学習のてびき」のページです。学習の進め方が見開きになっており、「①文章全体を見通そう」「②ごんの気持ちを想像しよう」「③視点の変化から考えよう」「④物語の終わり方について話し合おう」という具体的な学習活動が示され、見通しをもって学習できるようになっています。96ページをお開きください。この単元では「考えの形成」が重視された教材が設定され、自分の考えを表現する場を確保するようになっています。4こままんがを並べ替えたり、98ページでは4こままんがの「終わり」を考えたりする学習活動になっています。

○次に、「教育出版」です。教科書4年・下巻36ページをお開きください。下の部分をご覧ください。「見通しをもとう」というタイトルで、学習過程がはっきりと分かるように学習の展開や段階を明示したり重点化を図って取り立てたりして、見通しをもって学習できるようになっています。また、四つの学習活動のうち「3」の「話そう・聞こう」の学習活動に色を付けることで、「話すこと・聞きこと」を中心とする単元であることが分かるようにしてあります。38・39ページをお開きください。話し合いの流れの例を見開きで示すとともに、下の部分で話し合う際に気を付ける点を示してあります。次の40ページをお開きください。ここでは話し合う際の板書の例が大きく見やすく示されており、「話すこと・聞くこと」の学習の重点化を図り、取り立てて紙面を割いていることが分かります。54ページをお開きください。この見開きのページは「ウミガメの命をつなぐ」

という「読むこと」の単元の学習の進め方が示されている、いわゆる「学習のてびき」のページです。この「てびき」では、「1 たしかめよう」「2 考えよう」「3 深めよう」「4 広げよう」という学習過程を示すことで、学習者が自らの考えを形成し深化、拡充させられるようになっていきます。また、見開きの下の部分では、上に示された学習活動に対応した、自分の考えを形成するための観点を例示しています。

○最後に、「光村図書」です。教科書4年・下巻36ページをお開きください。この教材は「話すこと・聞くこと」の学習を行う単元です。下の部分をご覧ください。単元の初めに学習の進め方を示したり、学習活動を提示したりして、学習過程を明確にし、見通しをもって学習できるようになっています。また、四つの学習活動のうち「話そう・聞こう」の「3 クラス全体で話し合う。」という学習活動の部分を白抜きにすることで、「話すこと・聞くこと」を中心とする単元であることが分かるようになっていきます。74ページをお開きください。この見開きのページは「プラタナスの木」という「読むこと」の単元の学習の進め方が示されているいわゆる「学習のてびき」のページです。光村図書では「見通しをもとう」という呼び方をしています。この「見通しをもとう」の中で、「考えの形成」についての活動を設定し、75ページの最後にありますように「ふりかえろう」では「知る」「読む」「つなぐ」の観点で自分の考えをもち、主体的に学習の確認ができるようになっていきます。また、見開きの下の部分では、上に示された学習活動に対応した、自分の考えを形成するための観点を例示しています。

以上、四つの発行者全ての教科書につきまして、作成した「国語科調査資料」の総括に書かれています内容を中心に説明させていただきました。これで、国語科の調査研究報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長 ありがとうございます。事務局より補足等ありますか。

事務局 深谷市、寄居町の小学校25校において、第18採択地区の子供たちにとってふさわしい教科用図書について、学校での調査研究の結果をあげていただきました。回答は、1つに絞れない場合は複数回答でも可としたものです。従って回答数は25以上になっております。学校調査結果について、目録順に読みあげます。東京書籍4票、学校図書4票、教育出版25票、光村図書出版13票。以上でございます。

議長 委員のみなさん、これまでの調査員長による説明・報告等に対して、質問はありますか。

委員 この第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげるとするならば、どの発行者でしょう。

調査員長 国語の調査員で教科書の調査研究を行う中で、この地域の子どもたちにとって、よりふさわしいと思われる発行者は、「教育出版」と「光村図書」と考えました。

○まず「教育出版」です。主な理由は3点です。1点目は、いわゆる「てびき」と言われている学習の進め方が示されているページですが、見開きで見やすく分かりやすい構成やレイアウトになっている点です。また、学習の進め方、いわゆる「学習の手びき」の内容が、例えば5年生の共通教材である「大造じいさんとがん」で比較すると他者よりも「山場」をより意識させ、叙述に沿って文章を読み取る学習活動が示されており、子どもたちに身に付けさせたい力を育成するための工夫があるという点です。2点目は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、学習過程がはっきりと分かるように、学習の展開や段

階を明示したり重点化を図って取り立てたりして、見通しをもって学習できるようになっている点です。3点目は、「教育出版」は現在使用している教科書です。これまで積み重ねてきた教材研究を踏まえ、その上に教材研究を積み重ねていくことで、より深い教材研究となり、充実した授業につながると考えます。

○もう一者は、「光村図書」です。主な理由は2点です。1点目は、「見通しをもとう」という、いわゆる「学習のてびき」の充実ということです。この学習の進め方が示されているページですが、「教育出版」同様、見開きで見やすく分かりやすい構成やレイアウトになっている点です。また、例えば「ふりかえろう」では、「知る」「読む」「つなぐ」の観点で自分の考えをもち、主体的に学習の確認ができるような工夫があるという点です。2点目は、単元の初めに学習の進め方を示したり、学習活動を提示したりして、学習過程を明確にし、見通しをもって学習できるような工夫が他者に比べ充実しているという点です。

以上のことから、「教育出版」「光村図書」の2者をあげさせていただきました。

議 長 それでは、ここまですを踏まえて協議に入ります。ご意見等をお願いします。

議 長 「大造じいさんとガン」を取り上げていただいて、わかりやすい説明があったのですが、学習の手引きがあり、それがステップ構造となっていますね。教育出版とその他の発行者では、例えば挿絵などは差があると思いますが、そのあたりはどうですか？

調査員長 個人的な好みにもなると思いますが、それぞれ各者、挿絵についても特徴があり、「大造じいさんとガン」という共通教材からもそれは感じられます。

議 長 リアリティのあるものと、簡略化されたものといろいろありますね。それも踏まえて考えるといいと思います。
他に質問はございますか。

議 長 ありがとうございます。それではここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議 長 それでは次に、書写の報告をお願いします。
御多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。

調査員長 書写の調査結果を報告いたします。よろしくお願いたします。
まず、東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書、日本文教出版の5者すべてについて、報告いたします。

○東京書籍

3年生以上に既習事項が確認できるインデックスが付いていて、学習内容が確認できるように工夫されています。また、ねらいを焦点化できるよう「見つけよう」を設けて進めながら「書写のかぎ」でねらいを整理する工夫がなされています。単元末の振り返り「ふり返って話そう」では、個別の自己評価だけでなく、友だちや先生との対話を通して、深まりのある評価ができるように工夫されています。

○学校図書

全学年に「書写のふしぎ」を設け、書写に対する関心が高まるよう工夫されています。ま

た「考えてかこう」での試し書きと「書き方のカギ」を比較しながら学習を進めて、ねらいが分かりやすくなるように工夫されています。また、書き込み欄の充実により、技能の確実な習得ができるように工夫されています。

○教育出版

様々な字体や筆記用具が紹介され、書くことへの関心を高め、学年をまたいで共通の図を用いたり、既習事項を次学年に再掲載したりすることで、確実な定着を目指しています。また、全学年に手紙やはがきの書き方があり、学年の発達段階に則して伝える力を無理なく育むことができるように工夫されています。

○光村図書

「漢字図かん」を設け、漢字の成り立ち等について関心が高まるよう工夫し、シールを貼って確かめることやインデックスを付けること等により、ねらいが分かりやすくなるように工夫されています。また、キャラクターの動きやそれに合わせた擬態語により、書くときのイメージがもちやすいように工夫されています。

○日本文教出版

全学年で習得を目指す目標が示され、次に「考える」「たしかめる」「いかす」の学習の進め方も示されて、主体的に学べるように工夫されています。また、他教科や総合的な学習の時間、日常生活で活用するための「言葉の窓」「国語の広場」「生活と書写」を設け文字から言葉への関心が高まるように工夫されています。

○では、資料の5ページ、東京書籍をご覧ください。3年生の教科書を使って説明します。

【教科書のインデックスとサイズ】について説明いたします。(表紙) このように3年生以上にインデックスなどがついており、振り返りなどで使いやすくなっており、また、幅がA4サイズとなり、お手本が一回り大きくなり見やすくなっています。

【思考力等を育成するための工夫】として、(11p)「書写のかぎ」を穴埋め式にすることで、考えながら書くことを促したり、学習の振り返りとして、子ども同士で話し合う活動を取り入れたりしています。

【表記・表現】について(13p) 毛筆教材では、穂先の向きがイラストで表現されていて、筆圧は「とん」「すう」「ぴたっ」など、見て理解しやすい工夫について2色の濃淡図で穂先の動きが分かりやすく、また、筆を置く、流す・動かす、止めるがよく分かりやすくなっており、

○次に、資料の6ページ、学校図書をご覧ください。3年生の教科書を使って説明します。

【学習意欲を喚起するための工夫】について説明いたします。(22p) QRコードがついていて家庭でも取り組みやすく、書き方のカギシール付きで学習意欲が喚起されています。原寸大の手本を基本としており、使いやすくなっています。

【レイアウトの工夫】(13p) 書写のカギと分度器の活用で、筆の始筆の入り方がわかりやすく書かれています。また、全学年で教材文字の全てに筆順が示されています。

【技能が習得できるようにするための工夫】(32p 42P) お手本と自分の書いたものを比べやすいように、教科書に直接書き込める部分が多く設けられています。

○次に、資料の7ページ、教育出版をご覧ください。3年生の教科書で説明します。

【技能が習得できるようにするための工夫】(12p、13p) 毛筆教材では、運筆がわかりやすいように穂先に色を付けて示し、さらに、筆圧がわかりやすいように、筆圧の強さをイラストや図で示されています。

【学びに向かう力のための工夫】(29p) 3～6年生で、「考えよう」「生かそう」「ふり返ろう」の学習過程を明確に示し、見通しをもって主体的に学べるように工夫されています。

【レッツ・トライ】（21・22p）毛筆以外の書く技能を身につけることのできる活動が設けられています。

【表記・表現】（59p）紙面の下部や巻末に新出漢字を筆順付きで示されています。

○次に、資料の8ページ、光村図書をご覧ください。3年生の教科書で説明します。

【「学びに向かう力のための工夫」】（2p）「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の学習の進め方を示し、見通しを持ちながら主体的に取り組めるよう工夫されています。1年間の学習内容が明確になっており指導しやすく、子どもたちにも分かりやすくなっています

【表記・表現】（10p 12Pその他全て）毛筆教材では、ななめほさきちゃんのイラストで説明されています。

【学習意欲を喚起するための工夫】（23・25・27p）教材一つ一つにQRコードがあるので家庭でも学習に取り組みやすくなっています。

○次に、資料の9ページ、日本文教出版をご覧ください。3年生の教科書を使って説明します。

【学びに向かう力のための工夫】（1p 2P）「考える」「確かめる」「生かす」の学習過程が明確で、各単元で見通しを持って繰り返すことで主体的に学習する力を身につけるようにしています。

【特記すべき教材や教科の特性】（42p）国語科の言語活動例を具体化した「国語の広場」を設定し、国語と合わせた効率的な指導ができるようにしています。

【思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫】（34p）「言葉のまど」では、思考を促すために、言葉の意味もおさえながら、視写の活動を取り入れています。

議 長 ありがとうございます。事務局より補足等ありますか。

事務局 書写の学校調査結果について、目録順に読みあげます。東京書籍8票、学校図書2票、教育出版2票、光村図書出版7票、日本文教5票。以上でございます。

議 長 ありがとうございます。これまでの調査員長等の説明・報告等に対して、質問等ありましたらお願いします。

委 員 毛筆でカタカナの文字が入っています。珍しいと思うが、いかがでしょうか。あまり見かけないと思うのですが。

調査員長 今年から水書用に水で筆ペンというのが1年生から入ってきました。毛筆でも漢字やカタカナが今後増えていくと思います。珍しいと思いますが、ただ、仮名に対してカタカナは日本の歴史ある文字なので、個人的には賛成なのですが、確かに珍しいと思います。

議 長 他にいかがですか。

委 員 毛筆の使い方など、大変どの教科書も工夫されていますが、似たような取組になっていると思いますが、この第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげていただけますか。

調査員長 本調査員会では、教育出版と東京書籍がよりふさわしいと考えます。

○東京書籍は、現在、本採択地区で使用しております。写真資料が豊富で子どもたちにとって視覚的に理解しやすいところが、使い勝手のよいところです。また、学年をまたいで共通の図を用いたり、既習事項を次学年に再掲載したりすることで、確実な定着を目指しているところも、よいところです。日常生活の中で、既習した事を実際に生かせるように構成されているところも工夫された点だと考えます。

○東京書籍は、3年生以上に既習事項が確認できるインデックスが付いており、学習内容が一目で確認できるように工夫されているところです。また、東京書籍だけ手本がA4サイズとなっており、お手本が一回り大きく見やすくなっています。また、考えながら書くことを促したり、学習の振り返りとして、子ども同士で話し合う活動を取り入れたりしているところも推薦する理由です。

委員 最初のお話で、東京書籍は現在使用中とのことでしたが。

調査員長 すみません。教育出版です。最初に説明したのが教育出版で、2番目に説明したのが東京書籍です。

議 長 他に質問はございますか。それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等をお願いします。

議 長 よろしいですか。それでは、ありがとうございます。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議 長 それでは次に、社会の報告をお願いします。
御多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。

調査員長 社会科の調査結果を報告いたします。よろしくをお願いします。

○まず、東京書籍の内容についてです。

- ・「知識及び技能の習得」に向けて、では、学習内容を確実に習得できるように、重要な語句を「ことば」として明示し、単元終末の「まとめる」場面では、語句を生かすことを促して学習内容の定着を図るようにしています。資料活用の技能の習得のために、随所に「学び方コーナー」を設けられています。
- ・「思考力、判断力、表現力等の育成」に向けて、では、「まとめる」場面では、習得した知識の定着を図りながら、多様な表現活動を提示して、思考力・判断力・表現力の育成を図っています。「生かす」場面では、社会にかかわる態度を育むために、自分にできることを考えたり、選択・判断したりする学習活動を位置付けています。
- ・「学びに向かう力、人間性等の涵養」に向けて、では、「調査資料」に記したとおり、3・4年では、地域の一員としての自覚や愛情を育むために、5・6年では我が国の国土と歴史に対する愛情を育み、国際社会で我が国が果たす役割について考えるために、それぞれ各学年の目標に即して教材を配置しています。
- ・「調査資料」には、記載してありませんが、各学年冒頭には「前学年で学んだこと」と「当該学年で学ぶこと」をつかませるページを、また、各学年巻末には「当該学年で学んだこと」を振り返るページを掲載しています。
- ・「特記すべき教材や教科の特性」では、埼玉県に関する教材は、「調査資料」のとおりですが、事例地の数が多いのが特徴です。

- ・新単元は、3つの時期を比較する「3年：市の移り変わり」、地震を教材とした「4年：県内の自然災害」、コンビニを事例とした「5年：情報産業」があり、新学習指導要領の趣旨をふまえて単元構成がされています。

次に、東京書籍の資料についてです。

- ・「学習意欲を喚起するために」では、ワイド版を生かした、イラストや写真により、単元導入の「つかむ」場面では、見通しをもった学習の進め方ができるようになっています。そして、単元終末の「まとめる」場面では、小単元の学習問題を再提示し、学習問題に立ち返った考察が促されています。また、適宜「振り返り」を随所に設け、主体的な学びを促しています。
- ・「学習効果を高めるために」では、ドラえもんが目印となり、4つの社会的な「見方・考え方」を働かせながら、深い学びを実現しようとしています。
- ・「レイアウトの工夫」では、単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」と、明確に示されています。また、本時のめあてとともに、学習段階がどこなのかははっきりするよう「つかむ、調べる、まとめる、生かす」の言葉も、目立つ形で示されています。

東京書籍の表記・表現についてです。

- ・（先ほどの指摘と同じ）…学習過程にそって、本時のめあて＝課題が色分けされていて、何を学習するのか活動が明確にされています。
- ・写真資料は鮮明で、見開きを使った迫力ある写真やイラストが配列されています。

東京書籍の教科書を総括すると、

- ・単元ごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」（「生かす」という学習段階を示し、問題解決的な学習を促す構成になっています。また、各時間における「社会的な見方・考え方」がイラストで示されていたり、学習問題の立て方やまとめ方が例示されていたりして、どのように学習が進むのか（学習展開）が明確になっています。
- ・掲載されている資料(数)は多く、写真資料とイラストの比率のバランスが適切です。
- ・5年の教科書が「上」と「下」、6学年の教科書が、「政治・国際編」と「歴史編」の分冊となっています。

○続きまして、教育出版の内容についてです。

- ・「知識及び技能の習得」に向けて、では、重要な語句を「キーワード」として取り上げ、「まとめる」場面で、語句を振り返るように促すことで、学習内容の定着を図れるようにしています。「学びの手引き」が随所にあり、「集める」「読み取る」「表す」という3つの技能を学習の流れに即して、習得できるようにしています。
- ・「思考力、判断力、表現力等の育成」に向けて、では、単元を通して思考が続いたり、深まったりするように、1時間の最後（見開きの末尾）に「次につなげよう」が設定されています。小単元の終末「まとめる」には、まとめ方とキーワードが示されていて、学習の再構成により、知識の定着と深い理解や思考が促されるようになっています。
- ・「学びに向かう力、人間性等の涵養」に向けて、では、各時間にでてきた新たな問いを次時で追究する問題解決的な学習を展開しています。巻頭で前の学年を振り返り、巻末で1年間の単元を振り返る場面が掲載され、また、学習の進め方を振り返る際の視点を巻頭に掲載しています。
- ・「調査資料」にはありませんが、3・4年では、地域の一員としての自覚や愛情を育むために、5・6年では我が国の国土と歴史に対する愛情を育み、国際社会で我が国が果たす役割について考えるために、それぞれ各学年の目標に即して教材を配置しています。
- ・「特記すべき教材や教科の特性」では、埼玉県に関する教材は、「調査資料」のとおりで

すが、人物として、4年で井沢弥惣兵衛と、6年で渋沢栄一を取り上げているのが特徴です。

- ・新単元は、道具とくらしの変化にも着目した「3年：市の移り変わり」、地震と津波を教材とした「4年：県内の自然災害」、販売・観光を主事例とした「5年：情報産業」があり、新学習指導要領の趣旨をふまえて単元構成がされています。

次に、教育出版の資料についてです。

- ・「学習意欲を喚起するために」では、児童が興味・関心を高めながら意欲的に学習できるように、各学習段階に応じて、多様な活動や体験が示され、児童の活動場面の写真や作品例が掲載されています。
- ・「学習効果を高めるために」では、児童のイメージを広げ深められるように、読み取る要素がしっかりと描き込まれた資料やイラストが掲載されています。
- ・「レイアウトの工夫」では、「見方・考え方」を働かせた学びができるように、資料を比較して提示したり、児童の吹き出しで示唆したりしています。

教育出版の表記・表現についてです。

- ・3・4年版では、問題解決的な学習過程にそって、各時間の主な学習活動が明示されています。
- ・児童の興味・関心を高めるようなイラストを掲載するとともに、子供のキャラクターが、中学年から高学年へ成長した姿で登場し、学習をナビゲートしています。

教育出版の教科書を総括すると、

- ・「問い」から展開していく問題解決的な学習が重視されています。毎時間、「この時間の問い」から始まり、終末には「次につなげよう」を設けていて、児童の思考の流れを大切にしたい学習展開となっています。また、児童の思考・理解を促す写真や地図、イラストが要所に掲載されています。
- ・各学年とも、一学年一冊構成です。選択教材は、3・4年版で豊富に掲載されています。

○最後に、日本文教の内容についてです。

- ・「知識及び技能の習得」に向けて、では、「学び方・調べ方コーナー」をとおして、白地図への記入の仕方、グラフの読み取り方、見学の仕方など、資料活用の技能を習得できるようにしています。学習内容を確実に習得できるように重要な語句が太字になっていて、その語句は「キーワード」欄において解説されています。
- ・「思考力、判断力、表現力等の育成」に向けて、では、社会的事象の意味や特色を深く考えることができるよう、「社会的な見方・考え方コーナー」が、①空間、②時間、③関係の3つの視点で示されています。「まとめる」場面では、深い学びを実現させるために、子供同士が学び合う活動と、個人で振り返る活動(ノート)を提示しています。
- ・「学びに向かう力、人間性等の涵養」に向けて、では、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々とともに生きていく自覚などを養えるよう、各学年の目標に即して教材を配置しています。単元終了後に、自ら学ぶ意欲を喚起したり、我が国の国土や歴史を大切にする態度を育んだりするために、発展的な学習内容「わたしたちの学びを生かそう」を設けています。
- ・「特記すべき教材や教科の特性」では、埼玉県に関する教材は、「調査資料」のとおりですが、人物として4年選択教材で「荻野吟子」を取り上げています。
- ・新単元は、交通の変化を軸に教材化した「3年：市の移り変わり」、水害を教材とした「4年：県内の自然災害」、気象情報サービスを主事例とした「5年：情報産業」があり新学習指導要領の趣旨を踏まえて単元構成がされています。

次に、日本文教の資料についてです。

- ・「学習意欲を喚起するために」、読み取りやすい資料（6年：想像図）をもとに疑問や予想を出し合い、学習問題をつくり、解決への見通しをもつことができるよう問題解決的な学習を展開しています。児童の「学びたい」意欲を大切に、単元終末には「さらに考えたい問題」を示し、主体的に諸問題と向き合えるようにしています。
- ・「学習効果を高めるために」、児童の考えの深まりや変容の様子を臨場感をもって伝えるために「漫画」で話し合う場面を示しています。
- ・「レイアウトの工夫」では、本文を正確に読み取れるように、その構成が、①学習活動、②子供の発言(話し合い)、③学習内容、の三つの視点(役割)から明確に区別されています。

日本文教の表記・表現についてです。

- ・本文や資料が読み取りやすいように、文字の大きさやフォントを変えたり、会話文を四角(線)で囲んだりしています。また、写真の角が、面取りされています。
- ・絵地図や土地利用図、グラフ、イラストは、色調や色の組み合わせに配慮されています。

日本文教の教科書を総括すると、

- ・学習問題を立てたり、まとめたりする場面で、話し合い活動を位置付け、主体的・対話的な学びを充実しようとしています。また、毎時間、本時の問いを明確に示したり、単元終末に「さらに調べたい問題」を設定したりするなど、児童の思考を促し深める学習展開となっています。
- ・本文と資料等コーナーが、関連させながら読み取りやすいよう、紙面のレイアウトが配慮されています。
- ・各学年とも、一学年一冊構成となっています。

議長 ありがとうございます。事務局より補足等ありますか。

事務局 社会科の学校調査結果について、目録順に読みあげます。東京書籍25票、教育出版6票、日本文教8票。以上でございます。

議長 それでは、ただ今の説明・報告等を踏まえて、質問はありますか。

議長 今、若い先生が増えているという実情がありますね。そういうことを踏まえて、若い先生、ベテランの先生両方から見た場合にどうですか。

調査員長 東京書籍、教育出版、日本文教、それぞれに特徴が表れていると思います。若い先生、ベテランの先生、いろいろな方が社会科に携わるわけですが、それぞれの教科書に特徴があって活用次第によっては、すべて素晴らしい教科書だと思います。

議長 ありがとうございます。他に質問はございますか。

委員 教科書が分冊になっているものと、そうでないものがありますが、写真とかページ数とかに差がありますか。

調査員長 ページ数は学年によって差があるのですが、分冊だからといって多いというわけではありません。ただ、中学年では、教育出版は資料が多いです。選択教材もたくさんあります。

議 長	他にどうでしょう。
事務局	この第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげるとするならば、どの発行者でしょう。
調査員長	<p>3者ある中で「東京書籍」と「教育出版」をあげたいと思います。</p> <p>○東京書籍は、つかむ・調べる・まとめる・生かすという学習段階が明示され、かつ、本時の課題も色分けされて示されており、子供たちが、何を学習するのかがわかりやすい構成になっています。また、各時間における社会的な見方・考え方が、イラストで示されていたり、学習問題の立て方やまとめ方が例示されていたりして、子供たちにとって、どのように学習を進めればよいのか、学習の仕方も明確になっています。</p> <p>○教育出版の大きな特徴は、6学年教科書に深谷市の偉人、渋沢栄一翁の記載があることです。次期一万円札の肖像画に決まり、全国的に脚光を浴びている渋沢栄一翁の新しい国づくりに尽力する姿を、教科書でも学べることは、大変魅力があります。内容面では、毎時間、「この時間の問い」から始まり、終末には「次につなげよう」を設けていて、子供たちの思考の流れを大切にしたい問題解決的な学習展開となっています。</p>
議 長	ありがとうございました。それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等をお願いします。
議 長	<p>社会科は、資料と資料の合間にどう学習意識、問題意識を継続させるかということが課題であり、難しいと思います。そういう点で、例えば教育出版が「次につなげよう」というのを必ず単元の後ろに持ってきて、それが次の単元の最初に出てきますよね。そういうことから考えると、子供の学びの姿勢というものができますし、「主体的・対話的で深い学び」これが求められると考えると、この構成というのは非常に魅力的だなという感じがします。あと、6年生で渋沢栄一翁が取り上げられているということは、これから10年間、栄一翁を学ぶことができるわけですから、大変魅力的かなと思います。</p>
議 長	他にどうでしょうか。
委 員	<p>人権教育になって、10年、15年以上たつのですが、意識調査をすると、まだ差別が残っていると、そういう現状があるわけですが、これを解決するには、授業で正しい理解をさせることが重要だと思うのです。小学校の場合の身分制度だとか、大事なところですが、そのへんについてはどうでしょうか。</p>
調査員長	細かいところまでは気にすることはできませんでしたが、大方の発行者の記載も似たような形で記載されておりました。
議 長	<p>他にございますか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。</p>
委 員	続いて、地図の報告をお願いします。

地図帳の調査結果を報告いたします。

○まず、『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』帝国書院の内容についてです。

- ・「知識及び技能の習得」に向けて、では、初めて地図を持つ児童が、スムーズに地図帳を使えるように、地図の成り立ちや方位、地図記号、距離の求め方、索引の使い方、縮尺などを「地図のやくそく」「地図帳の使い方」として、12ページにわたり掲載されています。特に、3年生が無理なく地図に親しめるように、都道府県の特徴や位置関係、結びつきがわかる「広く見わたす地図」が掲載されています。47都道府県の名称と位置については、「都道府県の名前と位置」を設けています。
- ・「思考力、判断力、表現力等の育成」に向けて、では、「自然災害と防災」では、過去の自然災害の地図や、防災・減災に向けた様々な備えや取組についての模式図を示しています。また、児童が主体的に防災意識を高められるように「防災マップづくり」を例示しています。
- ・「学びに向かう力、人間性等の涵養」に向けて、では、「地図マスターへの道」が全80問設置されており、地図活用の技能だけでなく、位置や空間的広がりなどの「社会的な見方・考え方」の育成を図ろうとしています。
- ・「特記すべき教材や教科の特性」では、日本の領土や排他的経済水域の範囲について、的確に捉えられるように、模式図等を掲載しています。
- ・国語や算数、理科、総合的な学習の時間、外国語活動など他教科等の学習と関連づけることができる資料も掲載されています。

次に、帝国書院の資料についてです。

- ・「学習意欲を喚起するために」に向けて、では、3年生からの使用に対して、児童がつまづかないように「地図とは何か」について、まず、学校の周りを例に、視点の違いをふまえて解説しています。
- ・児童の学習意欲を喚起したり、主体的な学びを促したりする学習内容（4年～6年）に関わる資料が配置されています。内容とページ数については「調査資料」のとおりです。
- ・「学習効果を高めるために」では、児童の発達段階に応じて、広く見渡せる地図や大きなイラストを配置しています。また、インターネットを使った学習ができるようにQRコードが示されています。
- ・「レイアウトの工夫」では、索引を活用できるように、地名の前に種類別に記号を用いて「赤、青、緑、黒」の4色で色分けして表現されています。

次に帝国書院の表記・表現についてです。

- ・日本の各地方の地図は、生活の舞台が読み取れるよう、土地の使われ方による色分けと、土地の高さによる色分け（等高段彩）を組み合わせた地図表現になっています。
- ・地名については、正しく読めるように、すべてにふりがなが付されています。
- ・大きな特徴として、地形の様子が捉えやすくなるよう、等高段彩表現と陰影表現を組み合わせた立体感のある地図表現となっています。

帝国書院の地図帳を総括すると、

- ・3年生から地図帳を活用するという視点から、12ページにわたり地図の約束や地図帳の使い方が記載され、児童の発達段階に応じた調べ方の指導ができるよう構成されています。
- ・中学年、高学年という児童の発達段階に応じた地図表現・配列がされ、国土への関心を高め、正しく理解できるよう内容が構成されています。後半の資料ページでは、自然環境や産業、貿易、歴史、世界遺産、各種統計、自然災害などに関するコーナーが設けられており、他教科等での活用を図ることができます。

○続きまして、『新しい地図帳』東京書籍の内容についてです。

- ・「知識及び技能の習得」では、「地図帳の使い方」では、地図記号や索引、方位、縮尺、土地利用といった基本的な地図の読み方が示されています。日本の47都道府県については、クイズなどの楽しい作業を交えながら確実に習得できるようにしています。
- ・「思考力、判断力、表現力等の育成」に向けて、では、「自然災害と防災」で、過去の災害について災害地図から位置や空間的な広がりに着目させています。また、日本の地形や気候との関係から災害の起きる要因や防災対策について考え、判断する学習ができるようにしています。防災・減災に対して、自分たちの地域のハザードマップにも着目させています。
- ・「学びに向かう力、人間性等の涵養」に向けて、では、各図の着眼点や課題、ヒントなどの地図活用の手がかりを、人物キャラクターがセリフで示し、児童が地域の特色に気付くことができるようにしています。資料地図のページでは、学習のねらいを明確にして児童が理解しやすいように（読み取りやすいように）、テーマの資料図を大きく表現しています。
- ・「特記すべき教材や教科の特性」では、日本の領土や排他的経済水域の範囲については、絵図を用いて示しています。国語や算数、理科、総合的な学習の時間、外国語活動など他教科等の学習と関連づけることができる資料が掲載されています。また、校外学習や家族での旅行にも使える、東京及び京都・奈良の市街地地図を掲載しています。

次に、東京書籍の資料についてです。

- ・「学習意欲を喚起するために」では、男女の児童キャラクターのほか、博士や冒険船の船長などのキャラクターを随所において、地図活用のがかりを児童の言葉で提示するようにしています。児童の学習意欲を喚起したり、主体的な学びを促したりする巻末資料が掲載されています。内容とページ数については「調査資料」のとおりです。
- ・「学習効果を高めるために」では、新たに「D（デジタル）マーク」を随所に設け、学習を補完する自社作成のデジタルコンテンツや学習を深めるウェブサイトへのリンクを利用できるようになっています。
- ・「レイアウトの工夫」では、索引は、地名の前に地名の種類を表す記号が示され、児童の発達段階に応じた指導ができるよう、赤・黒の2色で色分けして、チェック欄が設けられています。

東京書籍の表記・表現についてです。

- ・地図中の文字や記号は大きく、字体も丸ゴシック系の親しみやすいものにしています。
- ・索引に十分なページをとり、行間をあけて見やすくしています。
- ・地名を正しく読めるように、すべての地名にふりがなをつけています。

東京書籍の地図帳を総括すると

- ・巻頭に「都道府県の区分」や「地図帳の使い方」があり、児童の発達段階に応じた調べ方の指導ができるようになっています。
- ・目的に応じた地図を配置し、国土に対する関心を高め、地理的理解や社会生活への理解を深める学習を進められるよう内容が構成されています。また、後半の資料ページでは、自然環境や産業、貿易、歴史、世界遺産、各種統計、自然災害などに関する資料が掲載されており、他教科等での活用を図ることができます。

議長 ありがとうございます。事務局より補足等ありますか。

事務局 地図の学校調査結果について、目録順に読みあげます。東京書籍4票、帝国書院24票。以

	上でございます。
議長	ありがとうございました。ただ今の説明・報告等に対して、質問はございますか。
委員	現在使われているのは、帝国書院の地図帳だと思いますが、使い勝手という点で考えると、もう1者と比べてどうでしょうか。
調査員長	帝国書院の地図帳につきましては、先ほども言いましたが、土地の使われ方による色分けと、土地の高さによる色分けを、組み合わせていて、地形の様子が捉えやすい、立体感のある地図表現となっていて、大変、使い勝手がよいと思います。
議長	他に質問はございますか。 それでは、これまでを踏まえて、ご意見等をお願いします。
議長	よろしいですか。それでは、協議を打ち切ります。調査員長さん、ご苦労様でした。退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。
議長	それでは、これより選定に入ります。なお、選定は投票によるものとなっております。投票の仕方について事務局から説明願います。
事務局	投票について説明いたします。本規約第11条「各委員が選定すべきと考える教科用図書に投票を行い、過半数の投票を得たものを選定する。」より行うものです。 投票により <ul style="list-style-type: none"> ・過半数を得た教科書を選定します。 ・3票ずつ2者に割れた場合は会長が決めます。 ・過半数を得なかった場合は上位2者で再度投票を行います。 ・上位2者が選べない場合は会長が2者を決め、再度投票を行います。 ・再度投票の結果、過半数を得た教科書を選定します。 ・投票数が同票の場合は、会長が決めます。 以上が選定に係る投票の説明となります。 この後、事務局が投票用紙を配付いたします。 お手元に、投票用紙が配られましたら、その発行者の中から1者を選び、ボールペンで○をお付けください。その際、先ほど用いたメモ用紙を参考に○をお付けください。なお、後ほど、事務局が投票箱をお持ちしますので、投票用紙を1回折ってお入れください。
議長	ただいまの説明につきまして、質問はありますか。 それでは、投票を行います。事務局は準備願います。
事務局	それでは、教科ごとに開票させていただきます。 ○国語 教育出版、教育出版、教育出版、教育出版、教育出版、教育出版 ○続きまして、書写を開票させていただきます。 教育出版、教育出版、教育出版、東京書籍、教育出版、教育出版 ○続きまして、社会を開票させていただきます。 教育出版、教育出版、東京書籍、教育出版、教育出版、教育出版

○続きまして、地図を開票いたします。

帝国書院、帝国書院、帝国書院、帝国書院、帝国書院、帝国書院

事務局 それでは、第1グループの開票結果を発表します。国語からです。

国語 東京書籍0、学校図書0、教育出版6、光村図書0

書写 東京書籍1、学校図書0、教育出版5、光村図書0、日本文教0

社会 東京書籍1、教育出版5、日本文教0

地図 東京書籍0、帝国書院6

以上でございます。

議長 それでは、確認いたします。

国語は、教育出版6ということで、教育出版が過半数の得票数を得ましたので、教育出版を選定いたします。

書写は、東京書籍1、教育出版5ということで、教育出版が過半数の得票数を得ましたので、教育出版を選定いたします。

社会は、東京書籍1、教育出版5ということで、教育出版が過半数の得票数を得ましたので、選定いたします。

地図は、帝国書院6ということで、過半数の得票数を得ましたので、選定いたします。

議長 以上で第1グループが終了いたしました。

ここで休憩時間をとります。9時35分再開いたします。

議長 それでは再開いたします。算数の報告をお願いします。

調査員長 算数科の調査結果を報告いたします。よろしくお願いいたします。

算数科では、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版の6つの発行者の教科書があります。目録順にご説明いたします。

資料の15ページをご覧ください。

○初めに、東京書籍からご説明いたします。

東京書籍の教科書は、算数科における主体的・対話的で深い学びを具現化し、算数の「内容」を学ぶ過程で「数学的な見方・考え方」を育むよう構成され、見方・考え方の可視化を意識した紙面になっています。

単元末の「つないでいこう算数の目」は、単元のゴールを確認できるとともに、授業づくりの際にも単元の指導計画を構想する上で有効活用できるページとなっています。

主な特徴について、5年上巻の教科書で説明させていただきます。

24～25ページをご覧ください。思考を表現する場としてノートづくりを重視しています。特徴的なところは、ノートづくりの基本的事項だけでなく、ノートを活用して本時で働かせた数学的な見方・考え方を主眼に思考を振り返るページを複数回設けているところです。

また、31ページをご覧ください。「つないでいこう 算数の目」を各単元末に設け、各単元で働かせた数学的な見方・考え方を振り返らせ、以降の学習に生かせるようにしたり、22ページのように、数学的な見方・考え方に焦点を当てまとめにはアンダーラインで可視化したりするなどの工夫をしています。

さらに、1年生①の教科書をご覧ください。1年生の教科書は2分冊構成となっています。単に上下巻というのではなく、1年生の実態を配慮した入学当初一定期間使用する教科書で、

通常より大きめのA4判で直接書き込めるようになっています。

○次に、大日本図書についてです

大日本図書の教科書は、児童が考える楽しさを味わえるように、問題解決型の展開を中心とした紙面構成になっています。

また、全学年が学年1冊の合本で既習事項の振り返りがしやすく、考え方に焦点を与えた「発見！考え方」を設けたことにより、数学的な見方・考え方を働かせながら学習を進められるよう工夫されています。

主な特徴について、5年の教科書で説明させていただきます。

22ページをご覧ください。「発見！考え方」ように考え方に焦点をあてたまとめを適宜取り入れたり、鍵マークの「ひらめきアイテム」を、287・288ページの巻末の「ひらめきアイテム集」に数学的な見方・考え方としてメモさせ、それ以降に問題を考えるときに役立つよう意識させています。

132ページをご覧ください。「ふくろう先生のなるほど算数教室」を3年生以上の学年に新設し、算数への興味・関心を一層高められるようにしています。

1～3学年では、算数を日常生活等に生かすよう「おうち算数」というページが設けられています。

また、250・251ページのような「プログラミングにちょうせん！」が全学年に設けられ、プログラミング的思考をのばす工夫がされ、5・6年ではプログラミング専用ウェブサイトが用意されています。

○次に、学校図書についてです。

全体的な特徴は、学校図書の教科書は、紙面が横長A4判となり、教科書の左側に思考の流れ、そして、右側に見方・考え方を示す紙面の構成になっています。

また、2～6年上巻の巻頭では、思考力・判断力・表現力を算数を通して育てたい三つの学びの力として示してあります。さらに、6年間を通して身に付けたい見方・考え方が整理され、可視化できる構成になっています。

主な特徴について、6年の教科書で説明させていただきます。

5～7ページをご覧ください。5・6ページには、前学年で見つけた考え方を示し、7ページでは数学的な見方・考え方の中で特に重要だと考えられる9つをモンスターで表しています。40・41ページをご覧ください。7ページで示した数学的な見方・考え方のモンスターを具体的な授業の場面で紙面の右側に示しています。

8・9ページをご覧ください。「3つの学び方で学習を進めよう」で算数の学び方を明示し、各単元の学習で児童が日常の事象から問題を見だし、協働的に解決したり、131ページの「ふりかえろう つなげよう」のように、児童が自ら学習内容を活用したり発展的な学習に取り組んだりできるように工夫しています。

また、216ページのように、プログラミング的思考を養うページが全学年にあるのが特徴的で、タブレットやパソコン等を使ってQRコードから実際に動かすことができ、筋道を立てて考えることの大切さに気付くことができるように工夫されています。

○次に、教育出版についてです。

教育出版の教科書は、児童の問いを重視し、その問いを学級で協働的に解決し、更に新たな問いに向かう「問いの連続」を意識できる構成になっています。

また、「何ができるようになるか」を実感する単元構成や「算数のミカタ」では、各領域の数学的な見方を顕在化し、「算数で使いたい考え方」では、各学年で生かしたい数学的な考え方が示されています。

主な特徴について、5年の教科書で説明させていただきます。

44・47ページをご覧ください。問題・発見の過程を「はてな→なるほど→だったら」の吹き出しで示しています。44ページの「はてな」、47ページの「なるほど」と「だったら」のように、児童自ら「問い」の連続で学習が進められるようになっていきます。

6ページをご覧ください。「算数で使いたい考え方」として前学年の数学的な考え方を示し、48ページの下段の「算数のミカタ」を設け、各領域を貫く数学的な見方に着目できるようにしています。

55ページをご覧ください。単元のまとめでは、学んだことのよさや考え方を振り返る4コマ漫画を設け、単元や領域を貫く数学的な見方・考え方を意識付けるようにしています。

2～6ページをご覧ください。巻頭に「学びの手引き」を設け、自ら算数の学習の進め方・学び方を意識させています。また、218ページが一番下の「身のまわりの算数」や219ページにある単元末の「学んだことを使おう」など、学習を広げたり実生活との関わりに触れたりして、知的好奇心を高められるように工夫されています。

○次に、啓林館についてです。

啓林館の教科書は、自ら問題を見付け、見通しをもって解決へ向かう学びと、他者と考えを共有し、よりよい解決へと高め合う学びを重視しています。問題の答えを求めるだけでなく、「毎日の学習のつながり」と「身のまわりのことがらとのつながり」を意識し、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業づくりを進めています。

主な特徴について、5年の教科書で説明させていただきます。

36・37ページをご覧ください。思考の助けになる図、式、表などが例示されるとともに、多様な考え方に触れる場面では、友だちの考えとつなげて考えたり、判断したりできるように促すことで、主体的・対話的で深い学びが実現できるようにしています。

また、演算決定にかかわる図を系統的に学ぶことができるよう各学年で適宜取り上げるとともに、38ページの演算決定の際には、巻末の284ページで図のかき方を児童が振り返れるようにしています。また、280・281ページには、話し合いで自分の考えを分かりやすく説明するための話型を整理しまとめられています。

92～97ページをご覧ください。単元の中の「わくわく算数ひろば」では、日常生活の関わりを実感しながら学習を進め、知識・技能や考え方を活用できるようにしています。

さらに、108ページをご覧ください。学習意欲を喚起するための工夫として、QRコードを単元の初めや途中、単元末などに掲載しています。ICTを活用することで、授業はもちろん、家庭でも児童が主体的に学習できるよう工夫されています。

○次に、日本文教出版についてです。

主体的・対話的で深い学びを実現するために、「どんな問題かな」「考えよう」「学び合おう」「ふり返ろう」という学習過程を通して、児童が筋道を立てて考え、算数の言葉で伝え合えるよう構成されています。

基礎・基本の定着を重視し、繰り返し考えたり確認したりするページを設け、算数が苦手な児童も使いやすいよう意識した構成になっています。

主な特徴について、5年下巻の教科書で説明させていただきます。

30ページをご覧ください。基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために、単元末では、つまづきやすい内容を「わかっているかな?」や「まちがしやすい問題」で取り上げています。84ページをご覧ください。中程の右側の「鍵マーク」で数学的な見方・考え方を働かせる際の手がかりを示しています。70ページの「Hello!Math」、95ページの「つなげる算数」では、学習したことを生かす数学的活動を取り入れ、思考力を育むようにしています。

上巻の巻末には「学び方ガイド」があり、話し合ったり学習を振り返ったりする助けになるよう切り取って使えるようになっていきます。

	<p>17ページから19ページをご覧ください。各学年にはこのような「自分で みんなで」のページがあり、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて子供たちが考えを伝え合いながら学習を進めるよう促しています。</p> <p>これで、算数科の調査研究報告を終わりにいたします。ありがとうございました。</p>
議長	ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。
事務局	算数の学校調査結果について、目録順に読みあげます。東京書籍24票、大日本図書2票、学校図書2票、教育出版5票、啓林館7票、日本文教1票。以上でございます。
議長	ここまでの説明・報告等に対して、質問はありますか。
委員	授業でやるプログラミングのソフトと同じような表現なのですが、その後説明した学校図書でもプログラミングという所があったのですが、そのあたりの表現は見たことのない図で、QRコードがついていたのですが、QRコードを見れば、同じような画面が出るのですか。
調査員長	大日本図書につきましては、スクラッチという所と関連して、そこでプログラミング教育ができるようになっております。学校図書につきましては、学校図書の会社の方で、ホームページ等でプログラミング教育ができるようになっておりますので、形式は似ているようでそっくりではないのですが、同じようにできるようになっております。
議長	他に質問等ございますか。
委員	分冊になっているところと、その方が多いのですが、1年間のものは、振り返りやすいとか、そういう良さがあるのでしょうか。
議長	分冊と1冊とで扱いやすさということですね。どうですか。
調査員長	大日本図書は1年生から6年生まですべて1冊として扱われています。振り返りやすいですが、若干重いかなというところがあります。他のところにつきましても、6年生または5・6年生で1冊というところもございます。その趣旨につきましては、5・6年生になってきますと、学ぶことが既習を生かすことが多いというのもありますし、6年生につきましては、中学生へ進学するに当たってのなめらかな接続として、中学校でも少し厚いものを使ったりということもありますので、そういうことも考えて、1冊にしているという会社もございますので、どちらがというのではありませんが、そのように捉えております。
議長	よろしいですか。
委員	この第18採択地区内の子供たちにとって、どれがふさわしいかというところで、2～3者あげていただけますか。
議長	ではお願いします。
調査員長	算数の調査員で教科書の調査研究を行う中で、この地域の子供たちにとって、よりふさわし

いと思われる発行者は、「東京書籍」と「大日本図書」と考えました。

○「東京書籍」の主な理由は、毎日の授業で学習する児童や指導する教員にとって、細部まで配慮され使いやすくなっているからです。

主な例を四つ説明いたします。

一つは、毎時間の授業で「めあて」と「まとめ」が明記されているため、学習を進めやすくなっていることです。

二つ目は、新学習指導要領で示されている「数学的な見方・考え方」についてです。授業のまとめで、数学的な見方・考え方に係る文言にアンダーラインを引いて価値づけたり、単元末に単元を通して身に付けさせたい数学的な見方・考え方を示したりして、数学的な見方・考え方を働かせ、それを更に豊かにしていけるようにしてあります。

三つ目は、思考を表現する場として日々のノートづくりを重視していることです。ノートづくりの基本的事項だけでなく、ノートを活用して本時で働かせた数学的な見方・考え方を主眼に思考を振り返るページを複数回設けています。取り上げている領域や紹介された振り返り（学習感想）や振り返りのポイントも複数例示されています。

四つ目は、新学習指導要領で4年より新たに「簡単な場合についての割合」が位置付けられましたが、分数やわり算と割合を関連付けて割合の素地づくりを行ったり、図を使って倍の意味を理解させたりするなど、倍や割合について、4年だけでなく、低学年から段階を踏んで丁寧に扱っていることです。

○「大日本図書」の主な理由は、東京書籍と同様に毎日の授業で学習する児童や指導する教員にとって、配慮され使いやすくなっているからです。

主な例を四つ説明いたします。

一つは、毎時間の授業に対して「めあて」と「発見」として「まとめ」が明記されています。これは、東京書籍と同様で、学習を進めやすくなります。

二つ目は、新学習指導要領で示されている「数学的な見方・考え方」についてです。考え方に焦点を当てた「発見！考え方」というまとめを設け、数学的な見方・考え方を意識づけています。そして、巻末にある「算数で使う大切な考え方」とリンクさせ、「ひらめきアイテム集」に自ら記入し意識させることで獲得した数学的な見方・考えかを以降の学習で活用できるよう工夫されています。

三つ目は、単元の導入の時間など、主要な時間を「じっくり深く学び合おう」と位置付けて、問題解決的な学習の流れを丁寧に示すとともに、単元の中の指導の軽重が見えるようにしてあります。

四つ目は、思考・表現ツールとしてのテープ図や数直線図を重視していて、それらのかき方を巻末に設け、本文の必要なところとリンクさせることで、児童が自ら活用できるようにしています。以上でございます。

議 長 ありがとうございます。それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等ありましたらお願いいたします。

議 長 よろしいですか。それでは調査員長さんありがとうございました。
委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議 長 次に、理科の報告をお願いします。

調査員長 これから、理科の調査結果の報告をいたします。よろしくをお願いいたします。

理科部会では「教育出版」「東京書籍」「大日本図書」「啓林館」「学校図書」の5者の教科書について、調査研究を行いました。

3～6年生の4学年分×5者の20冊の教科書について検討しましたが、本日は5年生の教科書を参考事例として活用しながら、説明させていただきます。

それでは、それぞれの教科書について「内容」「資料」「表記・表現」「総括」という順に報告いたします。

○まず始めに、第18採択地区で今現在使われております「教育出版」についてです。

「内容」は、各単元の重要語句が、黄色のラインマーカーで強調され（P2）、大切な言葉は視覚的にも習得しやすい工夫がされております。また、単元末の「確かめ」で、学習内容の確認ができるように配慮もされておりました。さらに、「他教科とのつながり」や「日常生活との関わり」を深められるようにも工夫されておりました。

「資料」は、科学者、気象予報士、宇宙飛行士などの著名人からのメッセージがあり（P1の気象予報士の石原良純さん・最終ページのノーベル化学賞受賞者の田中耕一さん）、学習意欲を喚起させようとしてありました。また、児童の「気づき」や「疑問」や「願い」をイラストで示し、教師が児童の心境を察することのできるように工夫されておりました。

「表記・表現」は、安全指導の所には赤いマークを用いて、注意を促していました。また問題と結論が正対しており、結論が一文で書かれているため児童にとって分かりやすい構成になっておりました。

「総括」としては、問題解決の力の育成を目指すため、観察・実験計画の立案にページの割合を重視し（P32では「予想しよう」、「計画しよう」で丸々1ページを使っている）問題解決能力を高める工夫がされておりました。また、単元の導入で、児童の気づきが示されており、問題づくりへとつなげられるようにも配慮されておりました。さらに、単元末の問題でも、説明を求めるものが多くあり、児童に表現力が身に付くように工夫されておりました。単元の最後にある「たしかめ」のページは、以前の教科書と比べ質・量ともに充実し、学習内容が定着するように配慮されておりました。

○続きまして、2者目の「東京書籍」について報告いたします。

「内容」は、「実験器具の使い方」について写真や絵などを用いてわかりやすく説明されています。また、単元末にある「たしかめよう」では、学習した知識について確認できるように問題が作成されておりました。さらに、各単元にある「学びをつなごう」では「本単元」と「既習内容」の関わりがわかりやすく示されています。

「資料」は、学習したことを実生活に生かしたり、中学校の学習につなげたりする読み物や資料が多くみられます。また、漫画形式の導入や、話合いのやりとりなど児童が親しみをもてるような構成になっております。

「表記・表現」は、ノートの書き方の例が、方眼ノートを例に書かれているので、どのようにノートに記述すればよいのかがわかりやすく示されています。（P106、子供が方眼ノートを使用しているので参考になります。）また、重要語句はゴシックの太文字になっているとともに、アンダーラインで強調されています。

「総括」としては、「理科のミカタ」は、理科で身に付けるべき見方・考え方を示しているので、深い学びにつながるよう工夫されておりました。（例えば、P6では、2枚の・・・P8では、時間がたつと・・・というように、見方・考え方の視点を示している。）また1内容ごと、1単元ごとの振り返りができるようになっており、何を学んだのかを児童が意識できるように工夫されています。さらに、学習の流れが示されているので、問題解決の流れが明確になり、どのような順番で思考や活動をすればよいのかが見えるよう工夫されています。

○続きまして、3者目の「大日本図書」について報告いたします。

「内容」は、単元の最後に「確かめよう」や「学んだことを生かそう」のページを設け、児童に「知識」「技能」が定着するように工夫されています。（発芽の条件の学習では、P42、P43とそれぞれ1ページずつページを設けている。）また、巻末に実験器具の使い方のページが掲載されております。さらに、実験の仕方をていねいに扱っており、児童が円滑に実験ができるように配慮がされています。

「資料」は、「学習内容が実生活と関わりがあること」を写真資料や読み物で示しており、児童の学習意欲が高まるよう配慮されています。また、キャラクターの吹き出しなどのやりとりから児童に話し合いの場面を想定させ、考えのヒントになったりしています。（P8・実際に教室で行われているような会話やイラストが多く場面で使われている。）

「表記・表現」では、児童に親しみのあるイラストが採用されていたり、各活動にマークを付けて、活動内容をわかりやすくしたり工夫がされています。

「総括」としては、時間の流れや関連性がわかりやすくなるように、矢印などが効果的に用いられています。また、予想や考察の場面では、「考え方」が例示してあるので、授業の進め方をイメージしやすくなっています。さらに、他教科や実生活との関わりが多く紹介されており、理科を学ぶ「意義や有用性」が高まるよう配慮されています。

○続きまして、4者目の「啓林館」について報告いたします。

「内容」は、児童が考え、話し合う学習活動の場面が設けられ、対話を通して深い学びにつながるよう工夫されていました。また、単元末には「活用しよう」という振り返りの問題が設けられており、学んだことを活かして児童自身の言葉で答える工夫がされていました。さらに、単元末の「たしかめよう」で「もう一度考えてみよう」と振り返る場面を設け、単元最初の問いをもう一度考えさせようという工夫がありました。

「資料」は、単元最初のページが、大きな1枚の写真で示していることが多く（P10の植物の発芽と成長、P154の電流と磁石）、そこから疑問を感じ取れるように工夫がみられました。また、学習内容が実生活と関わりがあることがわかるような資料が多く用いられていました。

「表記・表現」は、「安全マーク」の注意文の他、「やけど」などの注意に視覚的にも分かるような安全マークをつけているため、安全指導が工夫されていました。

「総括」としては、単元前後で同じ問いを取り上げることで、学習によっての学びを意識させる構成になっています。また、実験方法の別案も提示している部分が多く、（P134のものもの溶け方では、食塩とミョウバンを溶かす実験の他にも、コーヒースュガーを溶かす実験を紹介している）多様な考えに対応しようと配慮されていました。さらに、QRコードやデジタルコンテンツが充実されており、家庭でも復習や調べ学習ができる内容となっていました。

○続きまして、5者目の「学校図書」について報告いたします。

「内容」は、巻末に「学習の進め方」「ノートのとめ方」「記録や調べる方法」「実験器具の使い方」などがあり、どのようにして学ぶのが説明されていました。また、単元末の「まとめてみよう」や「できるようになった」のページが設けられており、単元で学習した内容が定着するように配慮されていました。さらに、「大事な言葉」としてその都度用語がおさえられていました。（P19・文中で蓮の種子・・・と説明し、さらに欄外に大事な言葉として種子を示している。）

「資料」は、QRコードが掲載されており、動画やソフトを活用できるようになっていました。また、ICTを活用した授業やプログラミング学習などに生かせる工夫がされていました。さらに、モデル図やフローチャートなど、イメージ化しやすい資料が多く、児童にとっ

てわかりやすく配慮されていました。

「表記・表現」は、問題解決の過程が常にページ下に示されていました。

「総括」としては、児童の考えを表現しながら、学べるような構成になっており、表現力を育成できるよう配慮されていました。

さらに、科学者の写真やキャラクターを用いて児童に科学への興味・関心を高めようとしていました。(P2・5年生は野口英世)

以上で、小学校理科の教科書5者についての報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長 ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。

事務局 理科の学校調査結果について、目録順に読みあげます。東京書籍6票、大日本図書3票、学校図書4票、教育出版23票、啓林館7票。以上でございます。

議長 これまでの説明・報告等に対して、質問はありますか。

委員 この第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげるとするならば、どの発行者でしょう。

調査員長 理科調査委員会では、「教育出版」「東京書籍」「大日本図書」がよりふさわしいと考えました。

○「教育出版」は、第18採択地区で今現在使われており、子供達や教師が慣れ親しんでおります。「他教科とのつながり」や「日常生活との関わり」が重視されており、実感を伴った理解をしやすい教科書であると言えます。また、問題解決の力の育成を目指すため、観察・実験計画の立案にページの割合を重視し、問題解決能力を高める工夫がされているので、指導する教師にとっても使い勝手がよいです。さらに、単元終末の問題でも、説明を求めるものが多くあり、児童に表現力が身に付くように工夫されています。

○「東京書籍」は、学習の流れが示されているので、問題解決の流れが明確になり、どのような順番で思考や活動をすればよいのかが見えるよう工夫されています。また、学習したことを実生活に生かしたり、中学校の学習につなげたりする読み物や資料が多くみられます。さらに、1内容ごと、1単元ごとの振り返りができるようになっており、何を学んだのかを児童が意識できるように工夫されています。

○「大日本図書」は、「学習内容が実生活と関わりがあること」を写真資料や読み物で示しており、児童の学習意欲が高まるよう配慮されています。また、予想や考察の場面では、「考え方」が例示してあるので、授業の進め方をイメージしやすくなっています。さらに単元の最後に「確かめよう」や「学んだことを生かそう」のページを設け、児童に「知識」「技能」が定着するように工夫されています。

議長 他に質問はございますか。

それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等をお願いします。

議長 よろしいでしょうか。調査員長さん、ありがとうございました。
委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議 長 次に、生活科の報告をお願いします。

- 調査員長 ○まず、東京書籍です。ダイナミックで表情豊かな写真や挿絵を多く使用し、児童の興味関心や活動意欲を引き出すよう工夫されています。また、見開き右上にある「やくそく」や巻末の「べんりてちょう」は、生活上必要な習慣や知識・技能が身に付くような配慮とともに、指導・支援、児童の活動を支える豊富な資料となっています。挿絵の吹き出しは、育てたい資質や能力に沿った言葉が示され、登場キャラクターを中心に対話の場面や学習活動の様子を可視化することで深い学びができるよう工夫されています。
- 次に、大日本図書です。見開きの構成で、単元名・活動内容が示され、イメージや見通しをもち、児童の思いに沿って活動がスムーズに展開できるよう工夫されています。上下巻末に配置されている「がくしゅうのどうぐばこ」や登場キャラクターにより安全絵の配慮事項や思考を促すヒントが投げかけられ、知識や技能が習得できるよう工夫されています。また、言語活動の充実が図れるよう「せいかつことば」が設定されていたり、多様な表現方法、交流場面、環境構成の例示が示されていたりすることで、児童の思いや願いを生かしながら深い学びができるよう工夫されています。
- 次は、学校図書です。単元名等、児童の言葉による明確なタイトルで分かりやすく示されています。児童の学習意欲を喚起するような美しくきれいな写真を使用し、ポイントを視覚化し分かりやすく思考を促すよう構成されています。巻末の「学び図鑑」や右端の「やくそく」は、活動の基礎となる内容がまとめられ、児童自ら考えたり、ふり返りで活用したりすることで知識や技能が身に付くよう配慮されています。また、「もの知りノート」や「チャレンジ図鑑」などの資料により、児童の興味関心を引き出し、気付きの質をたかめる工夫がされています。対話やふり返りを大切に、児童の学びを深められる構成となっています。
- 次は、教育出版です。写真やイラストが大きく明るい色使いとなっています。生き物の成長の様子が比較しやすい構成となり、児童の学習意欲をかき立てる工夫がされています。ページ上段のサイコロに学習のめあてが示され、何を学習するのか児童がめあてをもって取り組めるようになっています。学習カードの例示により気付きや思考を促したり、「ヒント」コラムや「もしも」ページにより、児童の活動や発想を広げられるよう工夫されています。また、吹き出しの書き込みや「まんぞくはしご」が示され、ふり返りや自己評価に重きを置いた構成にもなっています。さらには、「つたえたいな」により、活動したことを家庭や地域につなげ、より深い学びができるよう工夫されています。
- 次は、光村図書です。各単元は、「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成され、学習のスタートからゴールまでを児童が見通して活動できるようになっています。吹き出しの会話の中に、学習のヒントとなる言葉が示され、知識や技能を高める工夫がされています。また、具体的な活動事例が多く掲載されていたり、「どうすれば」コーナーに視点や活動を広げるヒントが示されていたり、児童が主体的に考え判断する活動が展開できるようになっています。シールへの書き込みを行い活用することで、単元や1年間のふり返りや記録を無理なく作成できるようになっています。
- 次は、啓林館です。全ての単元が「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成され、各紙面の構成要素の位置も固定されているなどの点から、活動の流れが捉えやすく、学びのプロセスが分かりやすい構成となっています。上下巻末に配置されている「がくしゅうずかん」や適宜示される「こんなときどうする」等の活用により、生活上必要な知識や技能が習得できるよう工夫されています。また、めくり言葉や発達段階に応じた表現方法や活動場面が系統的に示され、具体的な活動や体験に結びつけ、深い学びに導ける

よう工夫されています。

○最後に、日本文教出版です。児童が関心をもって学びに向かうことができる写真や学習の手立てが見えるイラストが効果的に配されています。また、吹き出しやコメント、見開き右上にあるヒント、巻末の「ちえとわざのたからばこ」により考えさせながら知識や技能が身に付けられるよう工夫されています。発見カードや観察カードも豊富で、活動への広がりが見られ、主体的に取り組めるように工夫されています。さらには、「ふりかえり・つなげる」を小単元の最後に示し、活動を体験だけで終わらせず、価値付け学びを定着させるようになっています。気づきを深め学習意欲に結びつけることで、学びをつなぎ広げていけるよう工夫され、質の高い活動を展開できるようにしています。

以上7者について述べさせていただきました。

生活科の調査員会では、以下の4点について、さらに詳しく調査を行いました。それでは4点について申し上げます。

1点目は「知識及び技能の習得」についてです。東京書籍では、「やくそく」や「かつどうべんりてちょう」に加え、「できるようになったことをふりかえろう」が設けられ、知識や技能の習得を確かなものにしていきます。日本文教出版では、キャラクターが示す気づきのヒントや板書のイメージ、巻末の「ちえとわざのたからばこ」などで、知識や技能の習得ができるようになっています。教育出版では、「やくそく」のコーナーが示され、生活上必要な知識や技能が身に付けられるようになっています。

2点目は「思考力・判断力・表現力等の育成」についてです。東京書籍では、考え表現する基礎となる、「みつける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」などの活動例が多く示され、対象に直接働きかけながら、児童の学びを深めていけるようになっています。日本文教出版では、写真やイラストを通して活動をイメージすることができ、考え、判断し、表現しながら学びを深めることができるようになっています。教育出版では、思考ツールを活用した板書例や「ひんと」コラムや「もしも」ページがあり、気づきや発想を広げられるようになっています。

3点目は「学びに向かう力・人間性等を涵養するための工夫」についてです。東京書籍では、意欲的に対象と係わる姿が、写真やイラストで配置されています。また、「やってみよう」のページが設けられ、知的好奇心を喚起し、学習の広がりや意欲を高める工夫がされています。日本文教出版では、「ふりかえりつなげる」を小単元の最後に示し、学びを価値づけると共に、次の課題をもち学習意欲を継続することができるよう工夫されています。教育出版では、「気づき」の例示が小単元の最後に示され、さらに挑戦してみたいことへつなげることができるよう工夫されています。

4点目は「スタートカリキュラム」についてです。東京書籍では、学校生活の写真と共に幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿がイラストと解説文で書かれ、学びの様子が保護者にも分かるようになっています。日本文教出版では、生き生きとした写真で入学時の学習が円滑にスタートできるように示されています。また、2年生のスタートカリキュラムも示されています。教育出版では、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿をイラストと写真で示し、幼児教育との関連を図りながら安心して学べるようになっています。

以上で、生活科の調査研究報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長 ありがとうございます。事務局より補足等ありますか。

事務局 生活科の学校調査結果について、目録順に読みあげます。東京書籍20票、大日本図書2票、学校図書3票、教育出版5票、光村図書2票、啓林館5票、日本文教2票。以上でございま

	す。
議長	ありがとうございました。これまでの説明・報告等を踏まえて、質問等ございましたらお願いいたします。
委員	どの発行者も大変すばらしいきれいな写真と、わかりやすい内容ですが、この第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげていただけますでしょうか。
調査員長	生活科の調査員で調査研究を行う中で、この地域の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者は、東京書籍、日本文教出版、教育出版と考えます。 ○現在使用しているのは「東京書籍」です。「東京書籍」の主な理由は、児童が思いや願いをもち、主体的に活動できるよう写真や挿絵が工夫されています。また、授業を展開する上で、児童の意識の流れを重視し、地域の実態等も踏まえた無理のない単元構成になっています。ユニバーサルデザインを意識した色使い、豊富な資料、育てたい資質や能力を育む手立てが随所にちりばめられ、学習活動を可視化することで、深い学びができるよう工夫されているといことがあげられます。 ○「日本文教出版」の主な理由は、「学習にめあて」と「評価」が分かりやすく示され、児童が見通しをもって学習できるようになっています。また、豊富な活動写真や発見カード、観察カード例により活動の広がりを見せています。「ふりかえり・つなげる」が小単元の最後に示され、質の高い活動を実践しながら学びを深める工夫がされています。2年生に向けたスタートカリキュラムが設けられていることも特徴としてあげられます。 ○「教育出版」の主な理由は、学習活動のタイトルが児童の言葉で示され、本時の学習のポイントとなる言葉が大きく色文字で示され児童が活動しやすいようになっています。4人の児童が2年間に渡り登場したり、児童目線でつぶやくキャラクターを登場させたりすることで、自分と比較や関連付けながら学習が展開できるよう工夫されています。新聞や絵本などの表現活動例が多く示され、書く活動を重視すると共に、他教科との関連や家庭・地域との関連を深め、学を広げる工夫がされていることがあげられます。 以上でございます。
議長	ありがとうございました。 それでは、これまでを踏まえまして、ご意見等ありましたら、お願いいたします。
議長	よろしいですか。それでは調査員長さん、大変ご苦労様でした。 委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。
議長	それでは、これより第2グループの選定に入ります。 事務局は準備をお願いします。
事務局	それでは、教科ごとに開票させていただきます。 ○算数科 東京書籍、東京書籍、東京書籍、東京書籍、啓林館、東京書籍 ○続きまして、理科を開票いたします。

教育出版、教育出版、教育出版、教育出版、教育出版、教育出版
○続きまして、生活科を開票いたします。
教育出版、教育出版、教育出版、教育出版、教育出版、教育出版

それでは、第2グループの開票結果を発表します。

算数 東京書籍5、大日本図書0、学校図書0、教育出版0、啓林館1、日本文教0

理科 東京書籍0、大日本図書0、学校図書0、教育出版6、啓林館0

生活 東京書籍6、大日本図書0、学校図書0、教育出版0、光村図書0、啓林館0、
日本文教0

以上でございます。

議長 それでは、確認いたします。

算数は、東京書籍5票ということで、過半数の得票数を得ましたので、東京書籍を選定いたします。

理科は、教育出版6票ということで、教育出版を選定いたします。

生活は、東京書籍6票ということで、東京書籍を選定いたします。

議長 以上で第2グループが終了いたしました。

ここで休憩時間をとります。

議長 それでは再開いたします。次に、音楽の報告をお願いします。

調査員長 これから、音楽科の調査結果の報告をいたします。よろしくお願いいたします。

教育出版社、教育芸術社の発行者全ての教科書につきましてご報告いたします。

○教育出版社の教科書についてですが、この教科書は、1時間ごと、単元ごと、学年ごとに学ばせることを明確にすることで、学びを定着させる構成になっています。「もっとあそぼう」と称するコーナーでは、上位層の児童に対し、発展的学習を促す工夫がされています。また、〔共通事項〕をよりどころにしながらの展開が意識されて教材の取り扱い方が工夫されているとともに、様々な音楽の聴き方、味わい方が示されているのが特徴です。

○次に、教育芸術社の教科書についてですが、現行の教科書については教育芸術社のものが第18採択地区で使用されています。この教科書は、「つながる」をキーワードにし、音楽活動を通して、子どもと子ども、子どもと社会、学びと学びがつながることを意識し、児童が学び合うとともに、学びの蓄積を生かす工夫がされています。また、「振り返りのページ」が設けられて、各学年で学んだ重要な学習事項を自分で振り返り確認することができるとともに、音楽科で身に付けたい基礎的・基本的な技能を系統的に扱っているのが特徴です。

○では、始めに、教育出版社の「音楽のおくりもの」について、詳しく報告します。資料の33ページをご覧ください。

・資料の内容の上から「知識及び技能が習得できるようにするための工夫」についてです。
リズムアンサンブルや即興的な音楽づくりで必要な力を身に付けさせるために発達段階を考慮して題材が配列され段階的に学習するようになっています。実際の教科書の例としては、2年生のP5と5年生のP56になります。手拍子によるリズムアンサンブルですが、2年生で、身に付けた力を5年生の発達段階を考慮しながらより複雑なリズムアンサンブルで活用できるよう配置され段階的に学習するようになっています。また、ご覧になった5年生のリズムアンサンブルの工夫のように楽曲の構成や特徴を理解することを大切に、「はじめ

- ・中・おわり」に分けて曲の変化に注目して特徴を感じ取ったり表現したりするようになっています。そして、同じページの下が「もっとあそぼう」の発展的な学習のコーナーです。
 - ・二つ目の項目<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>についてです。
「学び合う音楽」や「まなびナビ」が示され、児童が自ら「音楽を形づくっている要素」をもとにしながら聴いたり、表現したりするとともに、一連の流れが示されていることで、見通しを持って学習活動に取り組むようになっていきます。実際の教科書の例としては、5年生のP22になります。曲想やイメージをもたせて学習の興味関心を高め、音楽を形づくっている要素に注目して曲の特徴を知覚し、音とりやパートの役割について思考して声の強弱や音色を工夫する、といった一連の流れを示して音楽科の見方考え方を重視した展開を想定しているものです。また、2年生のP15をご覧ください。身体を動かしながら音楽を形づくっている要素やその効果に気付かせる指導が意識的に取り入れられています。
 - ・三つ目の項目<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>についてです。
学習を手助けする資料を巻末に掲載したり透明シートを付けたりして、児童が自ら確かめながら学習を進めるよう工夫されています。小学校では、3年生からソプラノリコーダーを使います。教科書では、運指を確かめながら出せる音を一音ずつ増やしていくよう丁寧に扱っています。実際の教科書の例としては、3年生のP53になります。ここでファとミとレを習得して音階全てをリコーダーで吹けるようになったところですが、以前に習得した運指を確認できるようP77を参照しながらリコーダーの練習ができるように工夫されています。
 - ・四つ目の項目<特記すべき教材や教科の特性>ですが、器楽や音楽づくりにおいて即興的な音楽づくりの活動を取り入れて自ら発展的に学習するようになっています。また、聴き取ったことを記入する部分を設け、学習したことを生かしながら音遊びや即興的に表現する音楽づくりの部分も特徴と言えます。
 - ・資料に関して言えるのは目次にQRコードが載っていて情報をウェブサイトを活用しながら自主的に学習する際に役立つようになっています。サイトには様々な「まなびリンク」マークを設定し、動画や音源、解説資料などを関連させて学習活動に対して意欲が高まるよう工夫されています。
 - ・表記・表現に関しては、ユニバーサルデザインを取り入れ判読しやすい配色、レイアウト、文字の使用等に配慮しています。
- 次に、教育芸術社の「小学生の音楽」について報告します。資料の34ページをご覧ください。
- ・資料の内容の上から<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>についてです。
旋律づくりやリズムアンサンブルの基礎的・基本的な事項を身に付けさせるために、題材が系統的・発展的に配列され、積み重ねやくり返しの学習をするようになっていきます。実際の教科書の例としては、1年生のP16と2年生のP46と3年生のP30になります。手拍子によるリズムアンサンブルですが、1年生で、身に付けた力を2年生、3年生と、発達段階を考慮しながらより複雑なリズムアンサンブルに発展していくよう配置され段階的に学習するようになっていきます。鑑賞教材については、3年生のP43のように、知覚・感受の過程を大切に、気付いたことと感じたことを分けて記録できる枠が設けられています。これは、感じたこととそう感じた根拠を明らかにし、音楽を形作っている要素や要素同士の関わりに気付くことによって音楽表現の効果を感じ取って味わうといった音楽科の見方考え方を生かした学習になっています。
 - ・二つ目の項目<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>についてです。
友達と一緒に音楽づくりを楽しむ教材や、目的意識をもって表現を工夫させる教材が取り入れられており、「対話的で深い学び」が想定されます。実際の教科書の例としては、6年生

のP22になります。3人一組になって、ボイスアンサンブルの演奏を工夫し、リズムアンサンブルをつくる活動です。3人で、色々な言葉で試したり色々なリズムをつくったりして、試行錯誤をくり返ししながら自分達の作品をつくり上げることで「対話的で深い学び」が自然に行われるようになっていきます。また、P53では、各自が卒業に対する思いを記述してその気持ちを歌にこめて伝えるという目的意識をもたせて表現を工夫するといった深い学びを引き出すものです。

- ・三つ目の項目<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>についてです。自然音など身の回りの音の面白さを音楽の学習に関連付けさせたりしています。実際の教科書の例としては、1年生のP30になります。耳を澄まして、様々な音を聞き取る能力を養います。また、みつけた音を声で表して紹介することで、身の回りの音の面白さによって音楽の学習に対する興味関心を高め、音の表現による対話的な学びを引き出すものです。
- ・四つ目の項目<特記すべき教材や教科の特性>ですが、国歌の掲載が全学年にあり、学年に応じた写真やコラムが併せて掲載されています。他にも写真や説明文、インタビューなど文化を大切にする心情を育てる教材があります。国歌のコラムは、2年生はサッカーのなでしこジャパン、5年生は野球の侍ジャパン、6年生はスキージャンプの高梨沙羅選手になっています。3、4年生は「さざれ石」の説明です。
- ・資料に関して言えるのはQRコードが載っていて、学習をサポートするコンテンツをICT機器で閲覧でき、器楽のパート別練習等が想定されています。様々な学習をサポートするコンテンツが用意され、参考教材が活用できるようになっています。
- ・表記・表現に関しては、インクルーシブ教育の視点に立ちユニバーサルデザインを意識した紙面作りがされています。

以上、2つの発行者全ての教科書につきまして、音楽科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長 ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。

委員 学校調査結果について、目録順に読みあげます。教育出版9票、教育芸術25票。以上でございます。

議長 ありがとうございました。これまでの説明・報告等に対して、ご質問はありますか。

委員 今、使用している教科書の発行者は教育芸術社ですが、その使い勝手はもう一者と比べるとどうですか。

調査員長 教育芸術社の使い勝手のよさを2点申し上げます。

1点目は、児童の実態に合うものであるということです。旋律づくりやリズムアンサンブルに必要な力を身に付けさせるために、題材が系統的・発展的に配列され、積み重ねやくり返しの学習をするようになっていきます。また、鑑賞教材については、知覚・感受の過程を大切にし、気付いたことと感じたことを分けて記録できる枠が設けられています。友達と一緒に音楽づくりを楽しむ教材や、目的意識をもって表現を工夫させる教材が取り入れられており、「対話的で深い学び」が想定されています。

2点目は、教育芸術社の教科書で扱われている教材が、指導者にとって親しみやすく扱いやすいものであるということです。第18採択地区では音楽の授業を専科の教員が担当する学校は少ないのが現状です。音楽の指導が堪能とは言えない教員にとっては、教育芸術社の

	教科書は使い勝手がよい、と考えます。
議長	それでは以上を踏まえまして、ご意見等をお願いします。
委員	教育芸術社の1年生で、「見つけた音で音を探して遊びましょう」というのがありますが、学校訪問をしていて、この単元を扱っている先生を見たことがないのですが、実際に音を探して音楽をつくるというのは、難しいのではないかと思うのですよね。そのへんはいかがでしょうか。
調査員長	基本は、自然音だとか、それに注意深く耳を傾けるということが音楽の基本になると思います。それが音楽に発展していくというのは、子供の内面で、これが節だとか、こういうリズムパターンというのを気付いていくわけです。その気付くための前の段階として、いろいろな音に興味・関心をもって聴くということが大事な教育になると思います。
委員	これは教育出版の方でも扱っているのですか。
調査員長	教育出版の方でも、自然音に興味・関心を高めさせるというのはあります。
議長	他にありますか。よろしいでしょうか。 それでは、調査員長さん、ありがとうございました。 委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。
議長	次に、図画工作の報告をお願いします。
調査員長	これから、図画工作科の調査結果の報告をいたします。よろしくお願いいいたします。 開隆堂、日本文教出版：日文、の発行者全ての教科書につきましてご報告いたします。 ○はじめに、開隆堂出版についてご報告します。 ・題材の配列は、児童に育成したい資質や能力と造形的な要素を考慮して工夫されており、1年を通してバランスの良い学びができるようになっていきます。知識及び技能の習得を主として捉えたものや、思考力・判断力・表現力等の育成を意図したもの、児童が試行錯誤しながら自主的、主体的に課題を追求するものなど、児童の実態や時間数、育てたい力によって組みあわせることができるようになっており、1ページで構成されたものもあります。また、それらのつながりもわかりやすく示されています。 ・参考作品は、作者の思いや考え方が伝わるような作品が多く、また、どのような児童でも作れそうなもの、やれそうに見えるものが紹介されており、学習意欲がわきやすいと考えます。 ・用具の扱い方も大きい写真と児童の視点に立った説明があり、理解を助けています。 ・さらに、QRコードを使った資料も用意され、タブレットやスマートフォンが使える環境なら、用具の扱い方や作り方を動画で確認したり、参考作品や英単語などを見ることができるようになっています。 ・また、巻末資料ページ「造形の引き出し」には、用具の使い方がわかりやすく示されており、児童が制作を行う際や活動をふり返る際の手助けとなっています。 【総評】 開隆堂で取り上げている題材には、児童の想像力をかきたてる感覚的な題材名がつけら

れており、児童が楽しそうに活動する写真とともに、造形活動の楽しさが伝わってくる構成となっています。

また、全ての題材に「学習のめあて」が設けられ、授業のねらいがわかりやすく示されています。また、最後に「ふりかえり」が設けられていることや、使用する材料や用具がイラストで示され、写真も学習活動が読み取りやすく、児童が活動の見通しをもって取り組める構成となっており、授業で活用しやすい教科書であると考えます。

○次に、日本文教出版についてご報告します。

- ・全ての題材で、黒板風のイラストを使って、資質・能力の3つの柱に基づく「学習のめあて」が示されています。また、掲載された写真や場の設定を見ると、友だちとの対話的な学びの場面や、発想を広げたり、思いを伝え合ったりする活動を多く取り上げていることがわかります。
- ・内容については、自分のイメージを絵や立体に表す活動が多く設定されています。児童が思考力、判断力、表現力等を用いる場面が多くなるよう設定されている他、低学年で幼稚園の造形活動との接続を意識した題材や造形あそびを多く取り上げたり、ゲーム感覚で形や色に親しむ題材を取り上げたりするなど、工夫された題材が多くなっています。他にも他教科との関連をもたせた題材や中学校への接続を意識した題材も設けられています。また、作品の記録の残し方が、絵や写真でわかりやすく書かれていたり、家庭に持ち帰った作品の写真を取り上げるなど、作品を大切にすることや、生活の中に生かそうとしたりする姿勢が伝わってきます。
- ・材料や用具については、写真やイラストを使って、使い方のポイントや手順をわかりやすく説明しています。加えて、巻末には、用具の使い方が学習順にまとめられており、児童がいつでも確認できるようになっています。また、高学年（5・6年上P63）では、接着剤の適合表が示されていますが、児童だけでなく、教員が指導する上で役立つ資料であるとの声がありました。
- ・気になったのは印刷の色調で、鑑賞作品では、実際とやや印象が異なって見える場合があるとの指摘がありました。もう1つは児童が考えるヒントとなる「吹き出し」で、学習過程で児童に発見させたいものがあり、指導者の扱い方に工夫が必要との指摘があります。

全学年にわたり、全ての題材で3つの観点が示され、どんな力を身につけたいのか、題材のねらい（ゴール）が明確に示されています。加えて、児童の活動する写真やイラストやマークを多用して、わかりやすく伝えようとする工夫が見られます。

また、教科書を見た児童が、学習活動をイメージして主体的に取り組めるよう、多様な題材、作品を取り上げたり、豊富な資料が用意されたりしています。このため、5/6年下巻では64ページ（開隆堂57ページ）とページ数が多くなっています。

以上、2つの発行者全ての教科書につきまして、図画工作科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長 ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。

事務局 学校調査結果について、目録順に読みあげます。開隆堂19票、日本文教18票。以上でございます。

議長 ただ今の調査員長による説明・報告等を踏まえて、質問はありますか。

委員	今、この第18採択地区で使っている教科書は、日本文教ですよ。もう1者と比べてその使い勝手はどうか教えてください。
調査員長	使い勝手そのものに大きな差異はないと考えられますが、開隆堂の方が同じめあてを示すにも「～しよう」という表現を用いているために、小学校、特に低学年の段階では、やや扱いやすい、使い勝手がよいのではという意見がございました。また、両者を比較していただくとわかるのですが、日文は、資料の印刷、写真の色調に若干異なりがあって、図工、美術の醍醐味である色調が、作品によってはややくすんだ感じを受けるという指摘がありました。その他の使い勝手については大きな差異はないと考えます。
議長	他に質問はございますか。
委員	今、学校には初任者がどこの学校にも入って、若手の先生にとって図画工作のような技能教科は、かなり得手、不得手がありますが、若い先生から見た場合にはどうですか。
調査員長	開隆堂のめあての示し方が、授業の流れをつくりやすいのではないかと、子供たちにもわかりやすいのではないかとという指摘がありました。特に最初の表現、先ほど説明しましたが、めあてのところで「～しよう」という表現で示しています。また、それぞれの単元の末にある「振り返り」というところも経験の浅い職員も、授業の流れとして捉えやすいのではないかと、そして子供たちにも理解しやすい流れになっていくのではないかとという指摘がありました。
議長	ありがとうございました。他に、お願いします。
委員	図画工作として物をつくり上げていくときに、アイデアがある子はてきぱきと物がつくれますが、そうでない子もたくさんいるわけですよ。先生が回ってきたときに、アイデアをくれたり、作品を見てもらったり、そこから始まる、そう考えたときに、情報を子供が目から、教科書から得るというふうに考えたときに、教科書から情報を得て、自分の作品に生かしていくと考えたときは、どのような活用ができるでしょう。
調査員長	その点については、両者ともかなり工夫をして、多様な作品を参考例としてあげていることが確認できました。その視点からも協議をしましたが、両者とも資料映像、写真の大きさを変えたり、子供の目線で見やすくしたり、先ほどもお話ししましたとおり、特別優れた作品だけではなくて、ぼくにもできそう、私にもできそうという作品を取り上げるなど工夫されている点が、今回の改訂では表れていたと思います。
議長	ありがとうございました。以上を踏まえまして、皆さん、ご意見などをお願いいたします
議長	よろしいですか。では、調査員長さん、ありがとうございました。 委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。
議長	次に、家庭科の報告をお願いします。
調査員長	家庭科の調査結果の報告をいたします。よろしくをお願いします。

家庭科は、東京書籍、開隆堂出版の2者の教科書について、ご報告いたします。

○初めに、東京書籍「新しい家庭」の教科書です。

東京書籍では、豊富な資料と本文での詳細な説明を充実させることで、調べ学習を教科書で行うことができ、また、基礎的・基本的な知識や技能のポイントを丁寧に押さえています。

また、日本の伝統文化に注目させたり、重視させたい視点を「家庭科のまど」で明確にしたりして、児童が今まで気付かない自分の生活について見つめなおすことができるようにしています。

○次に、開隆堂出版の「わたしたちの家庭科」の教科書です。

開隆堂出版では、児童が話し合う場面や児童の発達・興味・関心に合わせた内容を設定し生活経験や条件が異なっても自分自身の課題として取り組める工夫がされています。

また、自分や身近な地域の生活に目を向けさせ、家庭実践に結び付けさせる展開が段階的に設定され、生活をよりよくしていくための見方や考え方が身につくようにしています。なお、第18採択地区では、現在「開隆堂出版のわたしたちの家庭科」を使用しております。

では、内容につきましてご説明いたします。

○「東京書籍 新しい家庭」の

・<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>について説明いたします。

見本本の15ページをご覧ください。ページ上部にありますステップ1のめあてに対応して、そのステップ1最後のページの下部に「振り返ろう」を設け、そこでの学習内容について身に付けることができたかを確認できるようにしてあります。

また、巻頭の2ページの「いつも確かめよう」で小学校5・6年生の2年間で身に付けるべき家庭科の基礎を示し、確実な知識・技能を意識させるとともに、3ページの成長の記録や21ページのように実習最後に「できたかな」の欄を設け、児童が自分の生活に役立つ技能の習得に対して自己評価できるような工夫があります。

基礎的・基本的な技能については、17ページ上部にみるようなDマークがある場合は5ページのQRコードでインターネットにつなぎ、項目を選んで動画を教師の指導に利用でき、児童が実習で確かめたりすることができるようになっています。また、巻末でも大きな写真で技能について示し、随時児童が確認しやすくしています。

・次に、<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>について説明いたします。

見本本の4ページにあるようにステップ1から3の流れで学習が進められ、課題解決に向けて自分なりに考え、表現できるようにしています。具体的には6ページの題材の最初「学習の流れ」にあるように、ステップ1から3が小題材名とともに示され、どんな学習が行われるのか見通しをもつことができるようになっています。同様に、6ページ右上にある窓の形をした「家庭科の窓」では、学習の視点を明確に示して目的をもって学習できるようにしています。

また、7ページ真ん中の家のキャラクターが吹き出しで「～しているかな？」と思考を促す投げかけをしたり、同ページの活動1「話し合おう」などで直接自分の考えを記入できるようにしたり、学びを深めるための活動が示されています。

・最後に<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>について説明いたします。

見本本31ページをご覧ください。「生活を変えるチャンス！」は2年間を通して5か所あり学校での学習を基にした家庭実践や課題設定ができるような工夫がされています。

また、30ページを見ていただくとわかるように、ステップ3「深めよう」では、生活に生かせる具体例や既習学習の応用例が示され、実生活に生かせるように工夫されています。

す。

また、93ページ右端上部にあるように他教科との関連、42ページ43ページにある環境教育や防災教育、安全教育等、今日的な課題についても関連づけて取り組むことができるように工夫されています。

○続きまして「開隆堂出版 わたしたちの家庭科」の

- ・<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>について説明いたします。

見本本の1～2ページをご覧ください。2年間で小題材が20あり、日常生活に必要な基礎的な知識や技能をスモールステップで積み上げながら発展していけるように題材や実習が配列されています。

また、14ページのように、実習の手順が見開きのページで左から右に一行に色付けされ写真とイラストを用いて活動をイメージしやすくされています。また、15ページ右上にあるように、そのページに必要な技能がQRコードで調べることができ、教師の指導に生かしたり、児童が実習で確かめたりすることができるようになっています。

14ページや15ページのように実習の最後に「できたかな」の欄により、自分の生活に役立つ技能の習得について自己評価できるように工夫されています。

- ・次に、<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>について説明いたします。

見本本58ページ59ページをご覧ください。題材導入時に場面絵や写真によって児童が生活場面を想起したり、着目したりしやすい工夫がされ、児童が自由に考えたり発表したりできる工夫がされています。

学習については、3ページにあるように1～3の3ステップで進められ、10ページ左下にあるように、小題材の最初に「学習のめあて」を示し、授業後に各ステップのめあてが達成できたかチェック欄により振り返りできるよう工夫されています。

また、46ページをご覧ください。製作例の名前の下に★をつけ、難度を示し、簡易なものから難しいものまで分かりやすくすることで児童が自分の力にあったものを選んだり次回の学習や家庭実践へのめあてをもちやすくしたりできます。

29ページ30ページ、31ページをご覧ください。「考えよう」「話し合おう」「調べよう」などの活動が小題材中に何度も示され、直接書き込みができる欄もあるなど、深い学びにつながる学習過程が設定されています。

- ・最後に<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>についてです。

見本本57ページをご覧ください。「チャレンジコーナー」は2年間で5か所あり、地域の特色に目を向けさせたり、既習を生かして課題設定をしたりして、家庭や地域で実践を促すように工夫されています。また、76ページから79ページの「レッツトライ」では生活の課題設定や実践の方法が丁寧に手順を踏まえて示され、家庭や地域での実践へ繋げる工夫がされています。

小題材の最後にはキャリア教育につながるその題材に関連する職業の方の話を、巻末にプログラミング教育や生活の中の外国語、伝統文化など家庭科と他教科等の関連を意識させる資料を示し、生活に生かす工夫がされています。

議長 ありがとうございます。事務局より補足等ありますか。

事務局 家庭科の学校調査結果について、目録順に読みあげます。東京書籍7票、開隆堂25票。以上でございます。

議長 ただ今の調査員長による説明・報告等を踏まえまして、皆さん、質問等ありますか。

委員	現在、この第18採択地区では開隆堂の教科書が使われておりますが、もう1者と比べてその使い勝手はどのようなのでしょうか。
調査員長	開隆堂出版の使い勝手ですが、児童が学びやすいように見開きを活用して学習課題、学習内容が配列されていること、資料の写真や図表が見やすく、児童の実態に合っており、興味関心をもって学習に取り組めること、そして、スモールステップで実践力につなげることができていると考えております。
議長	ありがとうございました。他に質問はございますか。
委員	答えにくい質問で申し訳ないのですが、今、働き方改革で、女性が活躍するには男性が女性を助けなければ、できないということはわかっているのですが、家庭科は男性も女性も同じように勉強して、同じように実践するものですね。教科書の写真を見ると、男性が服を洗ったり、布団を上げたり、今までだったら、女性がするべきだと言われているような仕事をトータルにやっているわけです。そういうところを、やはりこれからは何気なく教えるのではなくて、もっと力を入れて教えていくべきだと思うのですよね。その点を比較して、この教科書はどうでしょうか。
調査員長	どちらの教科書も、男性だから、女性だからではなくて、もっと広い視野で、自分の生活をより良くするという視野で作られていると思います。ですから、男性、女性に限らず、外国籍の子が扱われていたりというようなところには、どちらも考えて作られているのではないかと思います。
議長	他にどうでしょう。よろしいですか。 では、調査員長さん、ありがとうございました。ご退出ください。 委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。
議長	それでは、投票に入りますので、準備をお願いします。
事務局	それでは、教科ごとに開票いたします。 ○はじめに音楽を開票いたします。 教育芸術、教育芸術、教育芸術、教育芸術、教育芸術、教育芸術 ○続きまして、図画工作を開票いたします。 開隆堂、開隆堂、日本文教、開隆堂、日本文教、日本文教 ○続きまして、家庭科を開票いたします。 開隆堂、開隆堂、開隆堂、開隆堂、開隆堂、開隆堂 それでは、第3グループの開票結果を発表します。 ○音楽 教育出版0、教育芸術6 ○図画工作 開隆堂3、日本文教3 ○家庭科 東京書籍0、開隆堂6 以上でございます。

議 長	<p>図画工作が、開隆堂が3票、日本文教が3票で、同数でした。 同数の場合は会長が決するということでした。</p>
議 長	<p>図画工作は開隆堂が3票、日本文教が3票で、同数でありました。甲乙つけがたい面がございます。調査員長の報告、それから、今、初任者が大変増えているという中で使い勝手が求められている、そういう状況の中で、色彩調のことについても調査員長はおっしゃっていました。それから、きちんと授業での振り返りがある、そのようなことを考慮しながら、開隆堂ということで決したいと思います。</p>
議 長	<p>それでは、確認いたします。 ○音楽 教育芸術 ○図画工作 開隆堂 ○家庭科 開隆堂 以上です。</p>
議 長	<p>以上で第3グループが終了いたしました。 休憩時間に入ります。2時10分再開ということでお願いします。</p>
議 長	<p>それでは再開いたします。次に、保健の報告をお願いします。</p>
調査員長	<p>これから保健体育の調査結果を報告させていただきます。よろしくお願いいたします。 保健体育科では、5つの発行者の教科書があります。東京書籍、大日本図書、文教社、光文書院、学研教育みらいの順で報告いたします。 ○はじめに、東京書籍について、説明いたします。 ①課題解決的に学習を進める中で、基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう紙面の構成が工夫されています。 具体的に説明いたしますので、5・6年生P26をご覧ください。 ・各項の内容を主体的・対話的で深い学びとなるように、4つのステップ「気づく・見つける」→「調べる・解決する」→「深める・伝える」→「まとめる・生かす」という流れで合計4ページの学習パターンによってまとめられています。さらに、児童が、学習内容を見開き2ページで学習した後、ページをめくり、まとめをすることで、自然と学習を振り返る思考過程ができ、基礎的・基本的な内容が習得できる構成になっています。 ②学習課題を明確にすることで、学びへの意欲を喚起するように工夫されています。 具体的に説明いたしますので、さきほどの5・6年生P26をご覧ください。 ・各項の2ページ目の冒頭で大きな字で、短い文でわかりやすい言葉を用いて、板書形式で「学習課題」が明示されています。課題を明確にすることで、学習のねらいも捉え易くなっており、学習課題を自分のこととして考えることができ、学びに向かえるように工夫されています。 ③イラスト・写真・デジタルコンテンツが充実しており、健康・安全についての理解を深める工夫がされています。 具体的に説明いたしますので、5・6年生P58をご覧ください。 ・イラストや写真、資料の大きなレイアウト、配色の見やすさ、学習の思考を助けるキャラクターの言葉等が多く取り入れられ、学習内容を理解しやすい工夫がなされています。また、イラストや写真、グラフなどを参考にしながら、気付きや調べるきっかけを作ったり</p>

まとめたりする学習ができるよう工夫されています。さらに、P1をご覧になると、児童の学びを手助けする動画やシミュレーションなど、「技能」を映像で確認できるデジタルコンテンツが充実するように工夫されています。

○次に、大日本図書について、説明いたします。

①学習ゲームで意欲を喚起することで基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう紙面の構成が工夫されています。

P18、19をご覧ください。

- ・各単元の導入に、見開き2ページに学習内容につながる場面をゲーム化した「わたしたちはどこかな？」は、児童の学習意欲を喚起する資料であるとともに、各単元の最初の動機付けでもあり、課題解決学習につなげていくための課題を把握することに重要な役割を果たしています。

②身近な題材や自分の生活について振り返ったり、考えたりする活動を通して、主体的に学習できるように工夫されています。

P26、27をご覧ください。

- ・「話し合ってみよう」「やってみよう」では、身近な題材や自分の生活について取り上げ、振り返ったり、考えたりする活動を通して、意欲的に取り組めるように工夫されています。

P32をご覧ください。

- ・各単元の「まとめコーナー」では、振り返りを行い、今後の生活に生かすために、学んだことを活用し、児童が理解を深めるとともに主体的に学習に取り組めるように工夫されています。

③学習内容に関する新しい知識や補足の説明があり、理解を深める工夫がされています。

- ・P54、55にありますように、「もっと知りたい」や資料である「はってん」、P36、37にありますように、「資料」や脚注の「ミニちしき」では、学習内容に関連する新しい知識や補足の説明があったり、「ウェブ」マークが示しているようにインターネットを使って学習ができたり、さらにP42にありますように、他教科と関連付けたりするなど、理解を深めるための工夫がされています。

○次に、文教社について、説明いたします。

①これまでの学習を振り返り、実生活に生かすなど健康安全について理解を深める工夫がされています。

5・6年生P47をご覧ください。

- ・「新しい自分にレベルアップ」では、場面設定された状況の中で、どう対処、対応すればいいのかを自分に置き換えて考えさせるなど、健康・安全について理解を深める工夫がされています。また、P52にありますように、各単元の最後には「わたしの〇〇宣言」という振り返りの場を設定し、学習の内容を深めたり、実生活に生かしたりできるように工夫されています。

②児童たちへのメッセージや学びを助けるための説明など、児童たちが関心をもって学びに向かっているような情報が掲載されています。

P36、37をご覧ください。

- ・脚注の「つぶやきくん」には、児童たちへのメッセージや豆知識があり、学習への意欲を喚起するよう工夫されています。また、「もっとくわしく!」「もっと知りたい!」や情報コーナーでは、児童たちが関心をもって、学びに向かっているような情報が豊富に掲載されています。

③各単元の初めに、動機付けページを配置することで、基礎的・基本的な学習内容を理解で

きるよう紙面の構成が工夫されています。

P30をご覧ください。

- ・各単元の導入に、課題を見つけてこれからの学習の見通しをもつための動機付けページが掲載され、児童の学習意欲を喚起する資料となっています。

P31、32をご覧ください。

- ・各単元の内容が主体的・対話的で深い学びとなるよう「動機付けページ」→「考えてみよう」→「調べてみよう」・「ふり返ってみよう」→「話し合ってみよう」と学習課題に順序性をもたせることにより基礎的・基本的な内容が習得できるように工夫されています。

○次に、光文書院について、説明いたします。

- ①各単元の初めに、ストーリー形式のイラストと会話を配置することで、基礎的・基本的な学習内容を理解できるよう紙面の構成が工夫されています。

具体的に説明いたしますので、5・6年生P21をご覧ください。

- ・単元の導入に、児童が学習内容を身近に感じられるようなストーリー形式のイラストと会話が掲載され、児童の学習意欲を喚起する資料となっています。

めくっていただいてP22、23をご覧ください。

- ・各単元の内容を主体的・対話的で深い学びとなるよう「はじめに」とある「振り返り」→「学習課題」→「調べよう」と「話し合おう」とある「学習活動」→重要な語句が太字で示されている「まとめ」→「生かそう・伝えよう」とある「活用」の5段階の学習過程にすることにより基礎的・基本的な内容が習得できる構成になっています。

- ②学んだことを書いたり、他人に伝えたりする活動によって、思考力・判断力・表現力等の育成が図られています。

そのままP22、23をご覧ください。

- ・「生かそう・伝えよう」の欄で、学んだことを書いたり、他の人に伝えたりする活動によって、思考を深める構成になっています。また、「話し合おう」の欄では、対話的な学びになるように、話し合う視点が示してあり、生活を振り返ったり、事例を基に思考したりすることによって、考えを表現しやすい構成になっています。

- ③動画やウェブサイト等、学びを広げ、深めるための資料によって、児童が興味をもって学びに向かえるように工夫されています。

P18、19をご覧ください。

- ・児童が知識を獲得したいと思える動画やウェブサイト等が簡単に活用できます。学びを広げ、深めるための資料が掲載されていて、児童が興味をもって学びに向かえるように工夫されています。また、「科学のとびら」や「この人に聞く」などのマークとともに、関連資料を提示し、児童が興味をもって、思考しながら知識を習得できるよう工夫されています。

○次に、学研教育みらいについて、説明いたします。

- ①学習内容と現代的な健康課題を関連付けるなど、健康・安全についての理解を深める工夫がされています。

具体的に説明いたしますので、5・6年生P52、53をご覧ください。

- ・「もっと知りたい・調べたい」や「実習」のコーナーでは、学習内容と現代的な健康課題を関連付け、自身の生活と結び付けながら、実践的に理解できるように工夫されています。また、P38、39をご覧ください。「かがくの目」では、科学的な資料を用いて、学習内容が詳しく説明され、理解が深まるように工夫されています。

- ②運動と健康の関わりや体育とのつながりについて考える資料、中学校に接続することを示した学習資料を掲載することにより、児童が生涯にわたって健康を保持増進する資質・能

力を育成することができる内容になっています。

- ・巻頭の運動や生活についての写真で健康について考えたり、P13にありますように「体育とつなげる」の項目によって、健康と運動について考えたりする工夫がされています。
- ・P28、29にありますように、学習内容の発展資料の中に、中学校での学習が示されており、系統的に指導できる工夫がされています。

③資料を読み取ったり、事例について探求・分析したりする活動を通して、思考力・判断力・表現力等の育成が図られています。

P21をご覧ください。

- ・「考える・調べる」の欄で、資料を読み取ったり、事例について探求・分析したりする活動を通して、自分の考えを深める構成になっています。また、「まとめる・深める」の欄で、学習したことを基に、自身の考えを記述し、他の人と伝え合う構成になっています。

P32をご覧ください。

- ・児童が思考・判断したことを表現する学習のまとめ欄、各単元末の「学習をふり返る・学びを深める」の自己評価欄や「明日につなげる」の活用記入欄など、単元全体の評価を行う手掛かりとなる場面が設定されています。

これで、保健体育科の調査研究報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長 ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。

事務局 学校調査結果について、目録順に読みあげます。東京書籍22票、大日本図書3票、文教社1票、光文書院4票、学研教育8票。以上でございます。

議長 ありがとうございました。今までの調査員長さんによる説明・報告等を踏まえまして、ご質問ありましたらお願いいたします。

委員 どの教科書も大変うまくできておられて、素晴らしいと思います。今の子供たちは、特にストレスにどれだけ耐えられるか、そういうストレス対策が大事だと思いますが、どの教科書も大変よくページを取って、伝えていたとします。第18採択地区内の子供たちにとって適切なものはどれかなと考えたときに、2～3者あげていただけますか。

調査員長 保健体育科の調査員で教科書の調査研究を行う中で、この地域の子どもたちにとって、よりふさわしいと思われる発行者は、「東京書籍」と「光文書院」と考えました。

○「東京書籍」の主な理由は、次の2点の特徴があるからです。

①イラストや写真、資料の大きなレイアウト、配色の見やすさ、学習の思考を助けるキャラクターの言葉等が多く取り入れられ、学習内容を理解しやすい工夫がなされています。また、「調べる・解決する」・「深める・伝える」の段階では、思考しやすい適切な質と量の資料提示になっています。

②学びに向かいやすいように各項の冒頭で大きな字で、板書形式で「学習課題」が明示されています。各項の学習内容を4つのステップという学習パターンによって、見開き2ページで学習した後、ページをめくり、まとめをすることで、自然と学習を振り返る思考過程ができ、基礎的・基本的な内容が習得できる構成になっています。児童にとっては主体的に取り組め、教師側では授業が展開しやすい構成になっています。

○「光文書院」の主な理由は、次の2点の特徴があるからです。

- ①「生かそう・伝えよう」の欄で、学んだことを書いたり、他の人に伝えたりする活動によって、思考を深める構成になっています。また、「話し合おう」の欄では、対話的な学びになるように、話し合う視点が示してあり、生活を振り返ったり、事例を基に思考したりすることによって、考えを表現しやすい構成になっています。
- ②児童が知識を獲得したいと思える動画やウェブサイト等が簡単に活用できます。学びを広げ、深めるための資料が掲載されていて、児童が興味をもって学びに向かえるように工夫されています。また、思考しながら知識を習得できるよう、「科学のとびら」や「この人に聞く」などのマークとともに、児童が興味をもって、関連資料を提示しています。

議長 ありがとうございます。それでは、これまでを踏まえまして、皆さん、ご意見等ありましたら、お願いします。

議長 よろしいですか。
では、調査員長さん、ありがとうございました。ご退出ください。
委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議長 次に、外国語をお願いします。
お忙しい中での調査、ありがとうございました。それでは報告をお願いします。

調査員長 外国語の調査結果を報告いたします。よろしくお願いいいたします。
外国語では、「東京書籍」「開隆堂」「学校図書」「三省堂」「教育出版」「光村図書」「啓林館」の7つの発行者の教科書があります。発行者番号順に7者全てについて、報告いたします。そのあと、それぞれの教科書に基づき、報告で触れた部分について説明させていただきます。

なお、随所にQRコードが印刷されており、そこにスマホのカメラをかざすと、該当部分の音声やビデオ、音声のスク립トなどが見られる教科書がありますが、現時点での内容の分量や質については出版社によって様々です。

○東京書籍です。
各単元の流れが、「出会う」「慣れる」「楽しむ」「広げる」で構成されています。学習の流れとしては、**Start Out**で表現についてなじみ、**Your Turn**で練習しながら身に付け、**Enjoy Communication**で表現に結び付けるようになっていきます。さらに、他の教科との関連や外国文化を紹介する、**Over the Horizon**というコーナーがあります。デジタル教材には教科書のストーリーを実写化した映像や活動の手順、外国人へのインタビューなどが収録されています。絵単語帳が別冊になっており、単語などが教科書のページを歩き来することなく参照して活動できるようになっています。

○開隆堂です。
活動は**Let's Listen**で聞く、**Let's Chant**、**Let's Sing**で言う、**Let's Play**で慣れ親しむとなっています。やり取りの中で学んだ内容を使う**Let's Try**の活動があります。活動の流れが「聞く」「やってみる。」から入り、繰り返し学習するようになっています。わかりやすい流れでシンプルです。巻末の『この教科書で学んだことリスト』で学習したことをふり返れるので、学習への理解が深まります。書くことの活動は巻末にまとめてあり、学習のまとめとしての意味をもたせています。

○学校図書です。
Let's Listenと**Let's Chant**で目標となる表現を何度も回数を記録しながら聞き、自分に当

てはまるものを選ぶなどし、聞くことに慣れ親しんでから表現するようになっています。**Project Time**では、シートを見せながら発表や、やりとりをします。目標表現が英語のリズムや発音をテンポよく練習する**Chants**であったり、**Song**であったりとスパイラルな学習で表現力を育てています。各単元で使用した表現を用いた**Shaggy**という犬を主人公にした読み物があります。また、コラムでは異文化に触れることができます。学習の道筋が時間配分なども含めて、各**Lesson**の扉などに示されています。

○三省堂です。

活動の流れは**Hop, Step, Jump**と3段階で基礎から表現力をアップさせています。**Step**でその時間の学習で使う基本表現を知り、**Listen & Talk**で語句、**Word Chant**で文、**Listen & Talk**で基本表現と語彙を使ってのやり取り、**Talk to Friends**で自分の思いを伝える活動が設定されています。**Jump**は学習、発表の流れがつかみやすく、自由度の高い発表の場面で、思考力を働かせながら、活用する場面となっています。言語や文化について興味や理解が深まるような題材や資料が用意されています。また、振り返りは学習者の気持ちにより添う、わかりやすいものとなっています。

○教育出版です。

判型はAB判です。シンプルな流れで聞いて慣れ親しむ活動から伝える活動につなげていきます。**Let's watch**で映像を見て内容をとらえ、**Let's say it together.**でチャンツに取り組み、**Let's think.**で考え、**Let's listen**で聞き、**Activity**でペアやグループ活動のやりとりにつなげます。さらに、**Final Activity**で発表につなげています。6年の巻末の**My book**では、自分に関連する表現の集大成を作ようになっています。文化面では5年では世界のあいさつ、6年では世界の子どもたちの夢を扱っています。聞くことの活動では日本語表記が多いため活動の流れを把握しやすいものとなっています。

○光村図書です。

判型はAB判です。単元ごとに**Goal**があり、目当てが示されており、活動は自然に発展しています。**Hop!**では、目標となる表現が示され、**Step1**、**Step2**で聞く、話す、読む、書く、の活動につながっています。さらに**Jump!**では、考え方や表現を広げ、自分の考えや思いを伝え合います。**Step**の中にある**Let's Try**では**Response**であいづち、ほめる、などの反応のしかたを紹介しています。各単元の中の**You can do it!**では自分の事を伝える書く活動があります。**QR**コードで参照できる教材が充実しており、繰り返し使えるペンマンシップのボードがあります。

○啓林館です。

判型はAB判です。**Listen and～**、**Jingle Chants**、**Think and Say**と聞く→話す→書くの順序で、繰り返し聞いたり、活動を行ったりして基本表現の使い方を身に付けるようになっています。比較的ペア活動が多くなっています。学んだ表現を用いて、**Activity**で自分の思いを伝える活動が全単元にあります。聞くことでは、聞いてわかったことの概略を日本語で書く活動が多く設定されています。振り返りの**Looking Back**の4、5の設問では、どう学びを広げるか児童に問うています。パートごとに「めあて」が明記されており学びの見通しが立てやすいものとなっています。**QR**コードで音声を聞いたり、アルファベットの読み方を学んだりできます。

それでは、お手元の実際の教科書を用いてご説明申し上げます。

判型はA4が2社、ABが5社となっています。比較しやすいように5年の教科書の最初の単元をもとに説明をいたします。

○東京書籍です。

10ページの**Unit 1, Starting Out**の題字の下に**Our Goal**として、目標が示されています。

す。12ページのYour Turnで習得、練習を行い、14ページのEnjoy Communicationで名刺交換を行い、友達とかかわりあう活動が設定されています。次の16ページのOver the Horizonで本単元の中心である世界の名前について学びを広げています。随所にQRコードがあり、ご覧のように絵単語帳が別冊になっています。単語などが教科書のページを行き来することなく参照して活動できるようになっています。

○開隆堂です。

5年の教科書の6ページをご覧ください。見開きで名刺交換をするというゴールの活動が示されています。Let's Listen, でモデルとなる自己紹介を聞く、同じページのLet's Singで言う、8ページからのLet's Playで慣れ親しむ活動となっています。10ページのLet's Tryで名刺交換の活動があります。文字で慣れる活動は巻末の82ページからの巻末にまとめてあり、基本的な聞く、話す、の次に来る、読む、書く、の学習のまとめとしての意味をもたせています。

○学校図書です。

判型はA4判となっています。同じく5年の教科書をご覧ください。自分の好きなことを伝えあう単元となっています。まず、21ページをご覧ください。下には学習の進め方があり、時間配分なども含めて示されています。24ページのLet's ListenとLet's Chantなどを通して、目標となる表現に慣れ親しんで30ページ3の発表につなげます。79、80ページのProject Timeでは、シートを見せながら発表いくつかのLessonをまとめた活動があります。31ページにあるのが各単元で使用した表現を用いたShaggyを主人公にした読み物です。

○三省堂です。

判型はAB判です。5年生の15ページをご覧ください。二つのLessonを用いて自己紹介をするということをこのHopで単元の目標として、示しています。16ページのStepでは誕生日と持ち物、好きなこと、26ページのStepでは自分ができることについて習得を深め、36、37での自己紹介、聞いて！のJumpで単元のまとめの比較的内容にまとまりのある活動につなげています。29ページにあるように言語や文化について興味や理解が深まるような題材や資料が用意されています。少し離れますが、103ページをご覧ください。ここにあるCan Doリスト、できるようになったことの振り返りはわかりやすいものとなっています。

○教育出版です。

判型はAB判です。同じく5年の教科書の14ページをご覧ください。自己紹介に関する単元です。Let's watchで映像を見て内容をとらえ、16ページのLet's listen、で聞くことに慣れ親しみます。このように聞くことの活動の指示は日本語表記が多いため活動の流れを把握する助けとしています。17ページ下のLet's Say It Togetherでリズムよく練習します。20ページのFinal Activityで発表につなげています。6年生の教科書をご覧ください。巻末の折り込みにあるMy bookでは、自分に関連する表現の集大成を作っています。

○光村図書です。

5年の教科書21ページをご覧ください。自己紹介に関する単元です。一番上に単元ごとにGoalがあり、目当てが示されています。続く22ページのStep1、Step2ではまずLet's watchでビデオを見て、続く活動で聞く、言う、話す、読む、書く、の活動につながっています。23ページのLet's Tryでは、Responseであいづち、ほめる、などの反応のしかたを紹介しています。27ページのYou can do it! では自分の事を伝える書く活動があります。QRコードで参照できる教材が充実しています。5年生の巻末をご覧ください。

	<p>消して繰り返し使えるペンマンシップのボードがあります。</p> <p>○啓林館です。</p> <p>判型はA B判です。5年生の教科書7ページをご覧ください。一番上に自己紹介に関するGoalが示されています。続いてのPartの数字の右に「めあて」が明記されています。</p> <p>Listen and何々と、聞いて何かをする活動や、Jingle, Chants、Think and Sayと活動が進みます。17ページのActivityで自分の誕生日と欲しいものを伝え合う活動に進みます。16ページのように、聞いてわかったことの概略を日本語で書く活動、番号を書く、指さすなどの活動が多く設定されています。18ページの振り返りのLooking Backという、自己評価の4、5の設問では、どう学びを広げるか児童に問うています。</p> <p>以上でそれぞれの出版社の教科書の研究結果の報告とさせていただきます。</p>
議 長	ありがとうございました。事務局より補足等ありますか。
事務局	学校調査結果について、目録順に読みあげます。東京書籍3票、開隆堂10票、学校図書2票、三省堂5票、教育出版10票、光村図書6票、啓林館4票。以上でございます。
議 長	ありがとうございました。ただ今の調査員長による説明・報告等を踏まえまして、ご質問はありますか。
委 員	これだけたくさんあると、どれを選んでよいかわからないですが、第18採択地区の子供たちに適している発行者を2～3者お願いします。
調査員長	<p>外国語の調査員で調査研究を行う中で、この地域の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者は、「開隆堂」と「三省堂」と「光村図書」と考えました。</p> <p>○まず、「開隆堂」の主な理由は、活動の流れが自然で、紙面の情報量も適切です。文字の扱いが巻末にまとまっており、学習のまとめとして取り組みやすくなっています。</p> <p>○次に、「三省堂」の主な理由は、活動の難易度や量が適切で、教師の力量によって膨らませることができます。たつぷりと英語を聞かせる授業ができます。ゴールとなる活動の流れや説明がわかりやすくなっています。</p> <p>○次に、「光村図書」の主な理由は、ゴールが明確で活動の説明がわかりやすく、活動の難易度もちょうどよいものとなっています。情報量も適度です。QRコードで参照できる教材がとても充実しています。</p>
議 長	ありがとうございました。以上を踏まえまして、ご意見等をお願いします。
議 長	よろしいですか。それでは調査員長さん、ありがとうございました。皆さん、メモ用紙にご記入ください。
委 員	次に、道徳の報告をお願いします。お忙しい中での調査、ありがとうございました。それでは報告をお願いします。
調査員長	令和2年度使用道徳科の教科用図書について、発行者番号2東京書籍、11学校図書、17教育出版、38光村図書出版、116日本文教出版、208光文書院、224学研教育みらい、232廣済堂あかつきの8者全ての調査結果を、報告いたします。

まず、どの者についても、学習指導要領の道徳科の目標に準拠し、教材や資料が構成されており、色づかいやデザイン、書体等について特別支援教育的な配慮がされてありましたことを先に申し述べさせていただきます。

その上で、各者の教科用図書の調査結果について、調査票の総括、内容の部分を中心に、特徴的な点を説明させていただきます。

調査資料と当該の教科用図書を見ながら、お聞きください。

○発行者番号2 東京書籍の教科用図書ですが、各学年1冊の教科用図書です。

6年生用教科書を使ってご説明いたします。

- ・考え、議論することを促し、多様な考えを引き出す「活動型教材」（マンガ、新聞、イラスト等）や、問題解決的な学習を投げかけるユニット「問題を見つけて考える」を取り入れている。
- ・人間関係力、コミュニケーション能力を養う「出会う・ふれ合う」や、他教科等との関連を図る「つながる・広がる」で、日常生活で生きて働く道徳性を育成する工夫がされている。
- ・児童が成長を実感し、評価にも生かせる様々な振り返りページが設けられている。

等の特徴が挙げられます。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>として、

- ・「いじめ問題」に特化した「いじめのない世界へ」が、とびらページ、直接的教材、間接的教材の3つの要素から成るユニット形式を取って全学年掲載されています。
- ・全学年の情報モラル教材が一新され、発達段階に応じて、時代に合ったテーマを取り上げ段階的に指導ができるように工夫されています。

<郷土（埼玉）に係る教材等について> ですが、

- ・5年生の付録「つながる 広がる」に、伝統工芸品として、小川和紙の写真が掲載されている。6年生の教材「ピアノの音が……」は、埼玉県内のある地域の話で「いじめ問題」に特化した（ユニット）「いじめのない世界へ」の（間接的）教材になっています。

（P61）

○発行者番号11 学校図書の教科用図書ですが、読みもの教材を集めた冊子「きづき」、教材を生かした活動内容等を示す冊子「まなび」の2分冊で構成されています。

5年生用教科書を使ってご説明いたします。

- ・教材文中心の「きづき」と、それをもとに考え、議論し、深め合う学習活動中心の「まなび」の2冊で、学習を進めることとなっている。
- ・「まなび」は内容項目別にユニット構成され、同じ内容項目の学習をつなげ積み上げることで、児童の変容を見取ることができるようになっている。

等の特徴が挙げられます。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫>ですが、

- ・「まなび」の冊子をご覧ください。「まなび」記述欄は、自分の気持ちや考えをまとめたり、自己を見つめるために書いたり、他者の考えと自分の考えを比べて深めたりできるよう工夫されています。
- ・また、道徳的価値について主体的に考えられる「まなび」の発問や「かんがえよう」「やってみよう」を設定し、問題解決的な学習や体験的な学習が行えるよう配慮されている。

最後に<郷土（埼玉）に係る教材等について> ですが、

- ・日本の伝統に親しみ、地域に愛着が持てる教材を多数取り上げ、
- ・埼玉県に係る教材としては、4年生の「十才のプレゼント」、奥秩父の山々を扱う教材が写真と共に掲載されています。

・また、5年生では、寄居町と関係の深いブータン関連の教材「ブータンと共に」が掲載されています。

○発行者番号17 教育出版の教科用図書ですが、各学年1冊の教科用図書です。

5年生用教科書を使ってご説明いたします。

- ・低学年では、体験的な学習をしながら道徳性を育む教材を多く掲載している。
- ・教材末に「深めよう」を設け、教材で扱っている内容項目を一般化（日常生活等に照らして自分事として考える）し、自己の生き方として考えを深めることができるような工夫がある。
- ・5年生では14教材、6年生では17教材で偉人やスポーツ選手等を扱い、渋沢栄一翁をはじめ、実在する人物の生き方にふれながら学習を進めることができる。

等の特徴が挙げられます。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>ですが、

- ・情報モラルに関する教材は、低学年では動物を登場人物とすること、高学年では実生活で起こりうる生活問題を題材とすることなど、発達段階への配慮がされています。
- ・発達の段階に応じ、「いじめ問題」「福祉教育」「健康教育」「食育」「キャリア教育」等の現代的な課題が複数取り上げられ、巻末の学習内容一覧に示されています。

最後に<郷土（埼玉）に係る教材等について> ですが、

- ・深谷市に関係が深い読みもの教材として、5年生には渋沢栄一翁を取り上げた「志高く、今を熱く生きる」、寄居町ゆかりの「ブータンに日本の農業を」が、4年生では「かことげんざいがともに生きる町ー川越蔵造りー」、奥秩父を題材とした「十歳のプレゼント」が掲載されています。

○発行者番号38 光村図書出版の教科用図書ですが、各学年1冊の教科用図書です。

6年生用教科書を使ってご説明いたします。

- ・各教材末には、教材を通して主体的に学ぶための発問や、対話的な活動を通して深い学びにつなげられるような発問が「考えよう・話し合おう」として示されている。
- ・いじめや共生社会の実現等の現代的な課題を効果的に学習できる工夫として、教材とコラムで構成する、ユニット形式の教材配置を取り入れている。

等の特徴が挙げられます。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>ですが、

- ・目次をごらんください。ねらいとする道徳的価値に係る教材とコラムで構成するユニット形式により、いじめや共生社会の実現等の現代的な課題を、効果的に学習できる工夫がされています。
- ・情報モラルについて、低学年では道徳的価値そのものを意識させ、中・高学年ではインターネットの扱い方など、具体的な事象に目を向けさせる教材になっています。

最後に<郷土（埼玉）に係る教材等について> ですが、

- ・4年生には、熊谷市立星宮小学校の、校歌の由来や歌詞が取り上げた教材「わたしたちの校歌」が掲載されています。
- ・愛校心をもち、自身の学校がよりよくなるよう、自分のできることを考え、役割を自覚し、責任を果たそうとする態度を育てることを目指した教材です。

○発行者番号116 日本文教出版の教科用図書ですが、読みもの教材や活動内容等を示す冊子と「道徳ノート」の2冊で構成されています。

6年生用教科書を使ってご説明いたします。

- ・各教材に、内容項目、主題、導入、条件・状況など、情報が十分に示されている。発問をキャラクターが豊かな表情で語りかけることで、児童が、教材内の問題を身近な問題とし

て捉えることができる。

- ・話し合い活動が主たる活動となるように、「道徳ノート」には、核となる発問のみが示されている。

等の特徴が挙げられます。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫>ですが

- ・「心のベンチ」は、問題解決的な学習や体験的な学習、対話的・協働的な学習を促すページで、道徳的価値の理解をより深めることができるように工夫されています。
- ・教材ごとに自由記述ができる別冊「道徳ノート」の活用を工夫することで、自分と友達や教師の考えを共有・比較ができ、多面的・多角的に考えることができます。

最後に<郷土（埼玉）に係る教材等について>ですが、

- ・2年生「日本のいろいろなおまつり」、5年生「ひとふみ十年」で、それぞれ写真資料が掲載されています。
- ・4年生「海をこえて」（大宮盆栽美術館について・・・）5年生「住みよいマンション」（埼玉県のある地域の・・・）で、埼玉県内の地域について取り扱った教材が掲載されています。

○発行者番号208 光文書院の教科用図書ですが、各学年1冊の教科用図書です。

6年生用教科書を使ってご説明いたします。

- ・道徳授業のオリエンテーションとして活用できるページが設定されている。
- ・各教材冒頭には導入で活用できる問いや内容項目が一目で分かるテーマが用意されており、主題に関わる問題意識をもつことができる。
- ・教科書の巻末には、毎回の学習の記録を積み重ねて、自分の学びを見つめることができる「学びの足あと」が設けられ、教師は児童の成長を見取り評価につなげることができる。

等の特徴が挙げられます。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>として

- ・（目次をごらんください）いじめ問題や情報モラルを示したマークが目次に示されています。年間に複数の教材を取り扱うことで、現代的な課題について時間をかけて考えることができます。
- ・情報モラルを取り扱った教材・コラムが各学年にそれぞれ2～3本用意されています。1年生からスマホを題材とした教材にし、身近な問題として取り上げられています。

最後に<郷土（埼玉）に係る教材等について>ですが、

- ・4年生の教材「十さいのプレゼント」では、奥秩父の山々の美しさを扱っています。
- ・また、1年生、2年生、6年生の教材の中で、パラリンピックへ出場した、県北出身の高桑早生選手の写真が、4年生の教材では、川越市のマークが掲載されています。

○発行者番号224 学研教育みらいの教科用図書ですが、各学年1冊の教科用図書です。

6年生用教科書を使ってご説明いたします。

- ・児童が自ら主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を培うことができるよう、教材の冒頭に主題名を記載せず、巻頭に内容項目と主題名について、児童にわかる言葉で、（巻末には、一覧として）示されている。
- ・教材に応じて「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」の4つの学び方があり多様な授業が展開できる。
- ・QRコードを使ってインターネット上の補助教材にアクセスし、写真を見たり、音声を聞いたりすることができる。

等の特徴が挙げられます。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>ですが

- ・情報モラルに関する教材は、題名の後にマークで示されています。キャリア教育、ESD、伝統文化教育など現代的な課題に関しても全学年で取り扱っています。
- ・全学年で「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「生命の尊さ」について取り扱った教材が3点ずつ用意され、いじめ問題に係る配慮がされています。（学研は積極的に教材の改訂、入替をおこなっています。）

最後に<郷土（埼玉）に係る教材等について>ですが、

- ・3年生と6年生では作者が埼玉県出身の大石真氏と宮澤章二氏による「貝がら」と「温かい行為が生まれるとき」が掲載されています。
- ・6年生の教材「栄光の架け橋」では、全米大会で優勝した所沢北高校のチアダンスチームが取り上げられています。

○発行者番号232 廣濟堂あかつきの教科用図書ですが、読みもの教材や活動内容等を示す冊子と「道徳ノート」の2冊で構成されています。

6年生用教科書を使ってご説明いたします。

- ・本冊では、「学習の道すじ」を設け、主体的に考えることができるよう、めあてや問いが示されている。
- ・「道徳ノート」の前半では内容項目ごとに自分の考えを記録する欄、後半では1時間ごとに授業で感じたことや考えたことを記録する欄が用意されている。
- ・また、話し合い活動の記録や体験活動の記録、心に残っている授業の記録など家族や教師にノートを見てもらえる工夫（こころのしおり）がされている。

等の特徴が挙げられます。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>ですが、

- ・低・中学年では「命を守ること」、高学年では「生命の尊さ」について考えるページが設定され、自他の生命の尊さについて全ての学年で考えさせることができます。
- ・全学年に情報モラルについて考えることのできる教材が掲載されている。加えて、中・高学年では、本冊巻末に資料として情報モラルに係るページが設定されています。

最後に<郷土（埼玉）に係る教材等について>ですが、

- ・3年生の読み物教材では、深谷市に関係が深い渋沢栄一翁の教材「母のせなか―渋沢栄一―」が、栄一翁の写真とともに掲載されています。
- ・また、5年生の教材「明日もまた生きていこう」では、主人公横山友美佳さんに宛てた、埼玉県出身の木村沙織さんからの手紙が掲載されています。

各者の教科用図書についての説明は以上です。

議長 ありがとうございます。事務局より補足等ありますか。

事務局 道徳の学校調査結果について、目録順に読みあげます。東京書籍3票、学校図書3票、教育出版2票、光村図書6票、日本文教4票、光文書院4票、学研教育5票、あかつき1票。以上でございます。

議長 ありがとうございます。それでは、ただ今の調査員長による説明・報告等に対して、質問はございますか。

議長 先ほど、主題名について、あまり触れないようにするという方針があったのですが、それはどういうことでそうなっているのでしょうか。

調査員長	先ほどの説明でも少し触れましたが、先入観をもたずに自分でその教材から主題を深めて近づかせたいということで、あえて示さない。具体的に言うと、今日は信頼について考えるよと言ってしまうと、子供の頭の中で信頼について答えを用意してしまうと考えれば、あえて教材の冒頭の部分に情報をあまり入れずにとという形で。逆に、最初から授業の流れが見える化されている方が主体的に学習ができると考えている発行者については別のスタンスですから、それぞれどういう形でねらいをもってやるかということで形は変わってくるのですが、別のところにきちんと示しているということです。教師の方が主体的に学習を進められるように、声かけをしていけば、どちらも授業の充実には十分に活用できると考えられます。
議長	ありがとうございました。他にありますか。
委員	第18採択地区の子供たちにとって、適切、効果的であると思われる発行者を2～3者あげていただけますか。
調査員長	<p>どの発行者も、創意工夫を凝らした教科用図書であると調査員一同感じていたところではあるが、深谷市、寄居町の児童が使用するにあたり、2～3者敢えて挙げるとすれば、「教育出版」と「廣済堂あかつき」と「学研教育みらい」があげられます。</p> <p>○「教育出版」は、学習指導要領の道徳科の目標に準拠し、教材や資料が構成されており、特別支援教育的な配慮がなされ、各内容が創意工夫もされています。</p> <p>あわせて、深谷と関係の深い渋沢栄一翁、寄居町と関係の深いブータン等、親しみを感じる身近な偉人、内容が掲載されている点で、地域性を考慮し、授業で使ってみたいと感じる教科用図書です。現在、第18地区で使用しているため、なじみのある教材が多く、使いやすい教科用図書だと言えます。</p> <p>○「廣済堂あかつき」は、2分冊の教科用図書ですが、学習指導要領の道徳科の目標に準拠し、教材や資料が構成されており、特別支援教育的な配慮がなされ、各内容が創意工夫もされています。また、別冊の道徳ノートを活用することにより、児童の学習の記録が残り、評価の際の拠り所にできます。</p> <p>あわせて、教育出版と同様、深谷と関係の深い渋沢栄一翁に係る教材が掲載されている点で、地域性を考慮し、授業で使ってみたいと感じる教科用図書です。</p> <p>○「学研教育みらい」は、前の2者同様、学習指導要領の道徳科の目標に準拠し、教材や資料が構成されており、特別支援教育的な配慮がなされ、各内容が創意工夫もされています。</p> <p>あわせて、内容の良さから、平成29年度まで、副読本を使用していた発行者であるため、なじみのある教材が多く、使いやすい教科用図書だと言えます。</p> <p>以上の理由で、「教育出版」と「廣済堂あかつき」と「学研教育みらい」の3者を挙げます。</p>
議長	それでは、協議に移ります。ご意見等をお願いします。
議長	よろしいですか。では、調査員長さん、ありがとうございました。 委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。 それでは、これより選定に入ります。
事務局	<p>それでは、教科ごとに開票させていただきます。</p> <p>○はじめに保健を開票いたします。</p> <p>東京書籍、東京書籍、東京書籍、東京書籍、東京書籍、東京書籍、以上でございます。</p>

	<p>○続きまして、外国語です。 開隆堂、開隆堂、開隆堂、開隆堂、開隆堂、教育出版、以上でございます。</p> <p>○続きまして、道徳を開票いたします。 教育出版、教育出版、教育出版、教育出版、教育出版、あかつき、以上でございます。</p>																										
議 長	<p>それでは、確認いたします。</p> <p>○保健は東京書籍 6 票 ○外国語は開隆堂 5 票、教育出版 1 票 ○道徳は教育出版 5 票、あかつき 1 票 よろしいですか。そうしますと、 ○保健は東京書籍を選定いたします。 ○外国語は開隆堂を選定いたします。 ○道徳は教育出版を選定いたします。</p>																										
議 長	<p>全教科の確認を行います。</p> <table border="0"> <tr><td>国語</td><td>教育出版</td></tr> <tr><td>書写</td><td>教育出版</td></tr> <tr><td>社会</td><td>教育出版</td></tr> <tr><td>地図</td><td>帝国書院</td></tr> <tr><td>算数</td><td>東京書籍</td></tr> <tr><td>理科</td><td>教育出版</td></tr> <tr><td>生活</td><td>東京書籍</td></tr> <tr><td>音楽</td><td>教育芸術</td></tr> <tr><td>図画工作</td><td>開隆堂</td></tr> <tr><td>家庭</td><td>開隆堂</td></tr> <tr><td>保健</td><td>東京書籍</td></tr> <tr><td>外国語</td><td>開隆堂</td></tr> <tr><td>道徳</td><td>教育出版</td></tr> </table> <p>以上を選定いたしました。</p>	国語	教育出版	書写	教育出版	社会	教育出版	地図	帝国書院	算数	東京書籍	理科	教育出版	生活	東京書籍	音楽	教育芸術	図画工作	開隆堂	家庭	開隆堂	保健	東京書籍	外国語	開隆堂	道徳	教育出版
国語	教育出版																										
書写	教育出版																										
社会	教育出版																										
地図	帝国書院																										
算数	東京書籍																										
理科	教育出版																										
生活	東京書籍																										
音楽	教育芸術																										
図画工作	開隆堂																										
家庭	開隆堂																										
保健	東京書籍																										
外国語	開隆堂																										
道徳	教育出版																										
議 長	<p>小学校用教科用図書の選定が終了しました。メモ用紙を回収させていただきます。 教科書の入れ替えをしますので、10分間の休憩を取りたいと思います。 3時20分に再開させていただきます。</p>																										
議 長	<p>続いて、令和2年度使用中学校用教科用図書の選定を行います。 選定の方法について事務局から説明させますので、確認をお願いします。</p>																										
事務局	<p>令和2年度使用小学校教科用図書の選定につきましては、それぞれの種目について、報告・協議・選定を行います。選定の方法は、今朝の事務局説明のとおり、投票は行いませんので、挙手による意思決定をお願いいたします。選定につきましては、前回調査の報告と今年度の学校調査の報告を参考にして、これまでの使用実績を踏まえ、現在使用している教科書について継続して使用するか、教科書を変更するかについて選定いたします。よろしくお願いいたします。</p>																										

議 長	道徳を除く全教科ということですね。来年度1年間のみ使用する教科書の選定ということですね。来年度はまた、全面的に選定ということですね。
議 長	それでは、協議に入ります。 国語科の調査結果について、ご報告をお願いします。
事務局	国語科についてご報告いたします。発行者は、教育出版です。前回は、関連図書の紹介を載せたり、思考力・判断力・表現力を高める手引きが提示されたりするなどの工夫が見られるという理由等で、採択されました。 今年度の学校調査での使用実績は、生徒の興味関心を引く教材が多い、付属の資料が多い、生活に関わる教材がある、ということです。以上でございます。
議 長	ありがとうございました。ただ今の報告に対して、質問・意見を含めた協議ということをお願いいたします。質問・意見等ございますか。
委 員	今、報告のあった、学校からの調査研究の結果や使用実績を考えると、引き続きの使用でよろしいのではないのでしょうか。
議 長	そのような意見をいただきましたが、皆さん引き続きの使用でよろしいのでしょうか。
委 員	はい。
議 長	それでは、賛成の方は挙手をお願いします。
議 長	賛成多数で教育出版を選定します。
議 長	書写について、お願いします。
事務局	書写についてご報告いたします。発行者は、教育出版です。前回は、生徒が主体的に学習できるような情報や支援の工夫が多く、指導がしやすいという理由等で、採択されました。 今年度の学校調査での使用実績は、筆使いがわかりやすい、写真やイラストが多く見やすい、ということです。以上でございます。
議 長	ありがとうございました。ただ今の報告に対して、質問・意見を含めた協議ということをお願いいたします。
委 員	国語の場合と同じように、引き続きの使用でよろしいのではないのでしょうか。
議 長	そのような意見をいただきましたが、皆さんよろしいのでしょうか。
委 員	はい。
議 長	それでは、賛成の方は挙手をお願いします。
委 員	(全員挙手)

議 長	賛成多数で教育出版を選定します。
議 長	社会科について、お願いします。
事務局	<p>社会科についてご報告いたします。</p> <p>まず、地理的分野です。発行者は、東京書籍です。前回は、全体的にまとまっていて、子供たちになじみやすいという理由等で、採択されました。</p> <p>今年度の学校調査での使用実績は、主題図やグラフなど多様な資料があり見やすい、地理スキルアップのコーナーは資料を読み取る力を明確化してあり使い勝手がよい、ということです。</p> <p>次に、歴史的分野です。発行者は、東京書籍です。前回は、生徒が予習や復習をするときに学習しやすい、記述内容がわかりやすく教師が指導する上でも効果的という理由等で、採択されました。</p> <p>今年度の学校調査での使用実績は、写真などの資料が豊富で見やすい、基礎的基本的な知識及び技能が確実に習得できるように工夫されている、ということです。</p> <p>最後に、公民的分野です。発行者は、東京書籍です。前回は、単元を貫く課題を導くための「作業学習」が数多く設定されている、地理や歴史で学んだことも想起しながら学習できるよう工夫されているという理由等で、採択されました。</p> <p>今年度の学校調査での使用実績は、資料に関して使い勝手がよい、写真などの資料が豊富で見やすい、ということです。以上でございます。</p>
議 長	ただ今の報告に対して、質問・意見を含めた協議ということでお願いいたします。質問・意見等はございますか。
委 員	ご報告のとおり、4年間の使用実績を考えると、引き続きの使用でよろしいのではないのでしょうか。
議 長	よろしいでしょうか。賛成の方は挙手をお願いいたします。
委 員	(全員挙手)
議 長	では、地理的分野 東京書籍、歴史的分野 東京書籍、公民的分野 東京書籍、を選定します。
議 長	続いて地図について、お願いします。
事務局	<p>地図についてご報告いたします。発行者は、帝国書院です。前回は、地図としての迫力や見やすさが優れている、統計資料や授業を意識した資料が豊富であるという理由等で、採択されました。</p> <p>今年度の学校調査での使用実績は、主題図などの資料が充実している、各種統計など様々なデータが掲載されている、色がたくさん使われていて見やすい、ということです。以上でございます。</p>

議 長	それでは、質問・意見を含めた協議ということでお願いいたします。
委 員	報告のとおり、使用実績から、引き続きの使用でよろしいのではないのでしょうか。
議 長	皆さんよろしいでしょうか。
委 員	はい。
議 長	それでは、賛成の方は挙手をお願いします。
委 員	(全員挙手)
議 長	それでは地図は、帝国書院を選定します。
議 長	数学ついて、お願いします。
事務局	数学科についてご報告いたします。発行者は、啓林館です。前回は、本文が段階を追って丁寧 に記されている、数学的な見方・考え方をわかりやすい言葉で側注に示している、数学的 な思考力や表現力を高めるためのレポートの書き方が丁寧に説明されているという理由等 で、採択されました。 今年度の学校調査での使用実績は、生徒の興味関心に結びつく題材が多い、課題解決的な内 容が多い、問題にあった例題が出ているのでわかりやすい、ということです。以上でござい ます。
議 長	ただ今の報告に対して、質問・意見を含めた協議ということで、質問・意見はありますか。
委 員	4年間の使用実績から、引き続きの使用でよいと思いますがいかがでしょうか。
議 長	皆さんよろしいでしょうか。
委 員	はい。
議 長	それでは、賛成の方は挙手をお願いします。
委 員	(全員挙手)
議 長	数学は、啓林館を選定します。
議 長	理科の教科用図書の調査資料の報告について、事務局お願いします。
事務局	理科についてご報告いたします。発行者は、東京書籍です。前回は、自分たちで課題を解決 するために、実験計画を作るところからスタートしている、実験結果の違いを検討して活用 する力を育成しているという理由等で、採択されました。 今年度の学校調査での使用実績は、図表や実験が多く取り上げられていて授業しやすい、実

	<p>験手順や思考の過程が明白で使い勝手がよい、課題とまとめが明確に示されていて授業が進めやすい、ということです。以上でございます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ただ今の報告に対して、質問・意見を含めた協議ということでもよろしくをお願いします。</p>
委員	<p>ただ今の報告のとおり、4年間の使用実績等から考えて、引き続きの使用でよろしいのではないのでしょうか。</p>
議長	<p>そのような意見をいただきましたが、皆さんよろしいのでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
議長	<p>それでは、賛成の方は挙手をお願いします。</p>
委員	<p>(全員挙手)</p>
議長	<p>理科は、東京書籍を選定します。</p>
議長	<p>続いて、音楽について、お願いします。</p>
事務局	<p>音楽についてご報告いたします。</p> <p>まず、音楽一般についてです。発行者は、教育芸術社です。今回は、音符、休符、記号について、反復学習ができるような構成になっている、伝統的な歌唱を身近に体験できるような工夫がされているという理由等で、採択されました。</p> <p>今年度の学校調査での使用実績は、写真が多くて資料が充実している、説明がわかりやすく使い勝手衣がよい、ということです。</p> <p>次に、音楽器楽です。発行者は、教育芸術社です。今回は、小学校で学習する機会が多い曲を取り扱うことで、親しみやすく創造する上でイメージを持たせやすいよう工夫されている、楽器の構え方や奏法について写真等を使って解説されているという理由等で、採択されました。</p> <p>今年度の学校調査での使用実績は、わかりやすい写真資料により様々な打楽器の基本奏法が紹介されている、学習する内容量がちょうどよく使い勝手がよい、ということです。</p>
議長	<p>ただ今の報告を踏まえ、質問・意見を含めた協議をお願いします。</p>
委員	<p>ただ今の報告のとおり、4年間の実績から考えて、引き続きの使用でよろしいのではないのでしょうか。</p>
議長	<p>皆さんよろしいのでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
議長	<p>それでは、賛成の方は挙手をお願いします。</p>

委員	(全員挙手)
議長	音楽は教育芸術社を選定します。
議長	美術について、お願いします。
事務局	美術についてご報告いたします。発行者は、開隆堂出版です。前回は、扱える題材の幅が広く、生徒も教員も使い勝手がよい、題材ごとに学習のねらいと振り返りが示してあり、主体的に取り組める工夫があるという理由等で、採択されました。 今年度の学校調査での使用実績は、掲載されている作品が大きく質感や大きさなどが理解しやすい、生徒の作品が多く共感できる参考にできる部分がたくさんある、ということです。以上でございます。
議長	ただ今の報告に対して、質問・意見を含めた協議をお願いいたします。
委員	報告のとおり、使用実績から、引き続きの使用でよろしいのではないのでしょうか。
議長	皆さんよろしいでしょうか。
委員	はい。
議長	それでは、賛成の方は挙手をお願いします。
委員	(全員挙手)
議長	美術は開隆堂を選定します。
議長	保健体育について、お願いします。
事務局	保健体育についてご報告いたします。発行者は、東京書籍です。前回は、資料が大変豊富に掲載されている、資料を活用して主体的な学びにつながるよさがあるという理由等で、採択されました。 今年度の学校調査での使用実績は、クラフ・写真・図等の資料が豊富で見やすい、導入場面の「やってみよう」や活用場面の「考えてみよう」が効果的である、章が見開きページで構成されていて使いやすい、ということです。以上でございます。
議長	ありがとうございました。ただ今の報告を踏まえまして、質問・意見を含めた協議をお願いいたします。
委員	報告のとおり、使用実績から、引き続きの使用でよいと思いますが、いかがでしょうか。
議長	皆さんよろしいでしょうか。

委員	はい。
議長	それでは、賛成の方は挙手をお願いします。
委員	(全員挙手)
議長	全員賛成です。東京書籍の教科書を選定します。
議長	続いて技術について、お願いします。
事務局	技術についてご報告いたします。発行者は、開隆堂出版です。前回は、身につけるべき学習内容が系統的に記載されている、イラストや図などの資料が豊富であるという理由等で、採択されました。 今年度の学校調査での使用実績は、内容ごとに色分けがされていて生徒がどこの内容を学習しているのかわかりやすい、図や写真が豊富で見やすく使い勝手がよい、ということです。以上でございます。
議長	ただ今の報告を踏まえまして、質問・意見を含めた協議をお願いいたします。
委員	ただ今のご報告のとおり、使用の実績から、引き続きの使用でよいのではないのでしょうか。
議長	皆さんよろしいのでしょうか。
委員	はい。
議長	それでは、賛成の方は挙手をお願いします。
委員	(全員挙手)
議長	全員賛成です。技術は開隆堂を選定します。
議長	家庭の教科用図書の調査資料の報告について、事務局お願いします。
事務局	家庭についてご報告いたします。発行者は、開隆堂出版です。前回は、子供たちが身につけるべき内容が系統立てて記載されている、カラー写真で掲載されていて作業工程から完成品までわかりやすいという理由等で、採択されました。 今年度の学校調査での使用実績は、イラストや写真などが多くカラーでわかりやすい、各ページにある豆知識が学習のより深い理解に役立つ、ということです。以上でございます。
議長	ありがとうございました。ただ今の報告に対して、質問・意見を含めた協議をお願いいたします。
委員	ご報告のとおり、使用実績から、引き続きの使用でよろしいのではないのでしょうか。

議長	皆さんよろしいでしょうか。																		
委員	はい。																		
議長	それでは、賛成の方は挙手をお願いします。																		
委員	(全員挙手)																		
議長	家庭科は開隆堂を選定します。																		
議長	最後に英語について、お願いします。																		
事務局	英語についてご報告いたします。発行者は、開隆堂出版です。前回は、「協働」というコーナーが設けられていて主体的に学習に取り組む工夫がされている、導入・展開・まとめがよく整理されていて身につけるべきことが確実に身につけられるように編集されているという理由等で、採択されました。 今年度の学校調査での使用実績は、各単元の活動や指導項目がわかりやすくまとまっていて指導しやすい、協働活動や自己評価が含まれていて充実した表現活動ができる、ということです。以上でございます。																		
議長	ただ今の報告を踏まえ、質問・意見を含めた協議をお願いします。																		
委員	ご報告のとおり、使用実績から、引き続きの使用でよいと思いますが、いかがでしょうか。																		
議長	皆さんよろしいでしょうか。																		
委員	はい。																		
議長	それでは、賛成の方は挙手をお願いします。																		
委員	(全員挙手)																		
議長	英語については、開隆堂を選定します。 以上で全ての教科の選定が終了しました。全教科について確認します。 <table data-bbox="300 1675 614 2051"> <tr> <td>国語</td> <td>教育出版</td> </tr> <tr> <td>書写</td> <td>教育出版</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>東京書籍</td> </tr> <tr> <td>地図</td> <td>帝国書院</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>啓林館</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>東京書籍</td> </tr> <tr> <td>音楽</td> <td>教育芸術社</td> </tr> <tr> <td>美術</td> <td>開隆堂出版</td> </tr> <tr> <td>保健体育</td> <td>東京書籍</td> </tr> </table>	国語	教育出版	書写	教育出版	社会	東京書籍	地図	帝国書院	数学	啓林館	理科	東京書籍	音楽	教育芸術社	美術	開隆堂出版	保健体育	東京書籍
国語	教育出版																		
書写	教育出版																		
社会	東京書籍																		
地図	帝国書院																		
数学	啓林館																		
理科	東京書籍																		
音楽	教育芸術社																		
美術	開隆堂出版																		
保健体育	東京書籍																		

議 長	技術家庭 開隆堂出版 英語 開隆堂出版 よろしいでしょうか。
議 長	長時間にわたり、ありがとうございました。皆様の御協力により、円滑に議事を終了することができました。 以上をもちまして、協議を終わりにします。議長の任を解かせていただき司会を事務局にうつします。